

2008年6月号 vol.194

広報

 兵庫医科大学・ 兵庫医療大学



(上:兵庫医科大学(3号館正面) 下:兵庫医療大学(芝生広場から望むセンタープラザ))

特集 兵庫医科大学病院看護部

■座談会 兵庫医科大学病院で働くということ

■兵庫医科大学病院看護部の教育体制と職場環境

- 05 最近の主な出来事
- 07 理事長メッセージ「平成20年度の予算と事業計画」
＜兵庫医科大学＞
- 10 学長メッセージ「平成20年度 兵庫医科大学の教育・研究の目標と計画」
- 11 兵庫医科大学入学式
- 14 大学院医学研究科入学式／関西学院大学との連携講座スタート
- 15 教授、図書館長就任挨拶／研究助成金等の交付状況
- 17 食道癌再発を規定する因子の同定
- 18 第102回医師国家試験について
- 19 学位の授与
- 21 白衣授与式／学生相談室の開室日変更
＜兵庫医科大学病院＞
- 22 病院長メッセージ「平成20年度の病院経営目標と計画」
- 23 禁煙外来／採血室時間短縮／早期体験実習の受け入れ

- ＜兵庫医療大学＞
- 24 学長メッセージ「2年目を迎えた兵庫医療大学」
- 25 兵庫医療大学入学式
- 28 教授就任挨拶／学生相談室から
＜学校法人兵庫医科大学＞
- 32 理事・評議員の異動
- 33 規程等の制定・改正
- 34 兵庫医療大学のための募金 状況報告
- 35 卒業生紹介
～兵庫医科大学同窓会 緑樹会 会長 細見基信さん(第1期生)～
- 36 職場レポート
～兵庫医科大学病院薬剤部／兵庫医科大学病院看護部 9階西病棟／兵庫医療大学看護学部 基盤看護学～
- 39 Join us! 一課外活動紹介～
～兵庫医科大学 アーチェリー部・合気道部／兵庫医療大学 学生会・Jazz/バンド部～

座談会

兵庫医科大学病院で働くということ —新人看護師の1ヶ月—

この4月に入職した120名も含めて、総勢770名の看護師・助産師が働く兵庫医科大学病院。今回は、入職して1ヶ月が経った看護師1年生と、指導教育を担当する先輩看護師のペア2組に集まっていただき、兵庫医科大学病院の職場環境やこの1ヶ月で考えたことなどについて語っていただきました。（この座談会は平成20年5月9日に行われました。）



司会進行

看護部次長
谷山 暁子 さん

あつという間の1ヶ月

谷山: 兵庫医科大学病院に就職して1ヶ月が経ちましたが、この1ヶ月どうでしたか？

内海: 実習とは時間の使い方がまったく違い、覚えることが多くて、整理しきれない部分や抜けてしまう部分が多かった。でも、少しずつですが無駄な時間がなくなってきて、患者さんに対しても気付けることが多くなったように思います。

野津: あつという間でした。学生時代にもっと勉強していればと思う場面がたくさん。1人でできることが増えてくるとやっぱり嬉しいですが、本当に先輩方のようにになれるのかな？という思いでいっぱいです。

谷山: 指導の仕方は病棟ごとに違うのよね？

織田: 11階西病棟では、月1回プリセプター会を開いて情報共有と相談をしています。プリセプターは3年目の人がやることになっていて、先輩たちに相談しながら進めています。

整った教育環境

織田: 私が新人の頃は、わからないことを聞けずに時間が経ってしまったこともあったけど、どうですか？

内海: 何から何まで聞いていいのかと思うし、何もわからないまま質問していいのかなという気持ちもあります。1人で悩むこともあって、時間が無駄になったりもしました。

赤木: 私もそうでした。でも、わかった上で患者さんに関わる方が大事なので、わからなければ聞いて欲しい。多少つつこむことや「本見て調べなさい」と言うこともあるだろうけどね。

野津: 「聞けるのは最初だけだから、今のうちに聞いた方がいい」と言われるんですけど、何か分からないのかも分からない時があって。

赤木: 10-6病棟では、3人1組のグループ制を今年から導入したんです。メンタルな面は年齢の近い人が、技術面や看護師・社会人としての関わりはもう少し上の人フォローします。指導する側で情報交換をしながら、本人との面接や勉強会を通じて、皆で見守るかたちですね。

野津: いろんな方から「病棟には慣れた？」というような声掛けもいただいて、それだけでも安心だし、励みになります。



野津: でも、そういう時は先輩の方から「ここ調べてきた方がいい」と言っていたりして助かっています。わからないことも聞けばすぐに教えていただけるし。

谷山: 兵庫医科大学病院には、専門看護師や認定看護師も多いから、心強いですよ。

内海: はい。やっぱり専門看護師や認定看護師はあがれですね。私も将来的には目指したいと思っています。

赤木: ここは教育制度や研修も整ってるから、資格をとりやすい環境だと思います。違う病院に行ったスタッフも、兵庫医科大学病院は教育の面でとても恵まれていると言ってますね。



役に立つ看護マニュアル

谷山: 看護の手順などはわかりやすくマニュアル化されてますが、役に立ってますか？

野津: はい。何か初めてのことをやる時は必ずマニュアルを見てからやるし、それを見て勉強しています。

谷山: 看護部の長年の涙と努力の集大成ですからね。感染・医療安全に関しての不安はありますか？

野津: 点滴の数が多くなってくるとチェックも大変になってくるし、時間処置も抜けていないか確認するんですけど、やっぱり遅れていたりして混乱してしまいます。

内海: 確認作業を忘れてしまったらどうしようとか、小さなミスが大きな結果につながることもあるので、すごく責任が重いなと思います。

谷山: それは何年目でもありますね。確認行動は1年目できちんと憶えこむことが大事。何回も何回もやって、考えなくてもその行動が無意識にできるというくらいに身に付けて欲しいですね。

チーム、先輩、同期、患者さん…皆が支えに!

谷山: この1ヶ月でつらかったことは？

野津: 仕事がなかなか終わらなくて、指導してくれている先輩まで帰りが遅くなってしまう時は、申し訳ない気持ちと、自分のできなさに情けない気持ちになります。

内海: 私も同じです。迷惑かけるのが申し訳ないし、できないことが多いことに落ちこみました。

赤木: やらねればいけないこともあると思うけど、体は1つなんだから、できないことがあればチームの人やリーダーに助けを求めるのも大事。チームとして皆で患者さんに関わっていくのだから、自分1人で抱え込まないでね。

谷山: これから夜勤に入ると、健康管理やストレス管理も大事よね。

赤木: しっかりごはんを食べる。あとは、わからないこと、つらいことを理解しあえる同期との関わりがいちばん大事かも。私も新人の頃は、同期6人で「やめようやめよう」って言い合ってたけど、やめずに続けたのは、その結束力のおかげだったと思います。

内海: 私の同期は3人。いっしょに遊ぶことはないけど、へこんでたりしたら「大丈夫？」と声をかけてくれたりして話す機会が多いです。

織田: 自分の傾向を知ること大切だと思います。私は忘れやすい傾向があることを先輩に指摘されたことがあって。その時は泣きましたけど、それを受け止めることで成長した気がします。

赤木: 私は「知らないことがあるんだっただ患者さんのところに行かなくていい」なんて厳しく言われましたね。でもそのことで、医療の現場で自分がどれだけ責任のある仕事をしているかがわかった気がします。



野津: 私は4人ですね。空き時間なんかは声を掛けて話したりすると、やっぱり励みになりますね。

内海: あと、患者さんからも励まされることが多いですね。

野津: 私も。毎日声をかけていただいたりして、励まされています。

赤木: 患者さんの笑顔って嬉しいですよ。私も自分を育ててくれたのは患者さんだと思います。とても元気だった方が急変した時、「もっと関わっておけばよかったな」と後悔したことがありました。それからは、その日その日の患者さんとの関わりを大事にしながら働きたいと思うようになりましたね。

織田: 大学病院に来られる方は医療に期待を持っている方が多くて、自分にできることは限られてると思っていたけど、患者さんは体を拭いたり足をお湯につけてあげるだけで「ありがとう」ってすごく喜んでくれる。今は自分にもできることもたくさんあるんだと思うようになりました。

谷山: 看護の力で「ありがとう」って言ってもらえると励みになりますよね。いろんなすばらしい関わり合いの中で経験を積んで、良い看護師になってください。今日は忙しい中、ありがとうございました。



11階西病棟

野津 千恵子 さん (1年目)

野津さんのとある1日

8:30 始業
申し送り、環境整備、情報収集
9:00 チーム毎の申し送り
9:30 検温、回診の準備
10:00 回診 ガーゼ交換の
介助などを行います
点滴ケアなど
13:00 休憩
13:30 病室を回りケア、合間に記録など
16:00 申し送り
18:00 チェックリスト・
勉強することなど確認
19:00 図書館で勉強



11階西病棟

織田 沙弥香 さん (3年目)



10-6病棟

内海 りえ さん (1年目)

内海さんのとある1日

8:30 始業
申し送り
9:00 環境整備、点滴の申し送り
10:00 検温、掃除
患者さんの様子の確認
12:30 休憩 交代で11:30からの時も
13:30 カンファレンス
14:00 検温、部屋回り
16:00 申し送り
記録 先輩にみてもらいながら



10-6病棟

赤木 美穂 さん (7年目)

＋ 教育システム

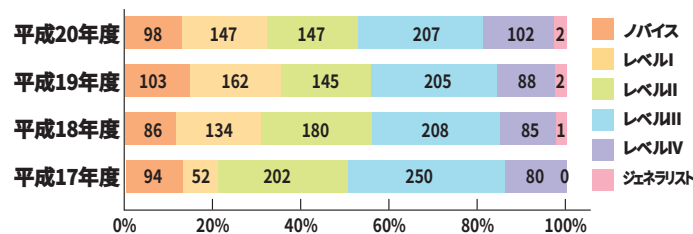
●兵庫医科大学病院クリニカルラダー



ラダー別研修テーマ

ノバイス	・「看護専門職としてのスタート」・「良い看護をするには」 ・「基本的知識・技術演習」
レベルⅠ	・スタンダードプリコーション・セーフティマネジメント ・メンバーシップ・看護記録・フィジカルアセスメント
レベルⅡ	・接遇・感染管理・スキンケア・看護診断 ・セーフティマネジメント・がん症状マネジメント ・臨床におけるリーダーシップ・フィジカルアセスメント2 ・コミュニケーション・人工呼吸器と関連モニター・研究クリティーク
レベルⅢ	・看護倫理・チーム医療・リーダーシップ・プリセプター研修 ・緩和ケア・呼吸理学療法・プリセプターフォロー研修 ・フィジカルアセスメント・セーフティマネジメント・スキンケア ・看護における教育的支援・看護診断・感染管理 ・アサーティブコミュニケーション・研究ゼミナール
レベルⅣ	・看護サービスの質評価・コーチング・ティーチング ・臨床看護実践能力とは・セーフティマネジメント ・研究ゼミナール・慢性期看護コース・看護管理コース ・急性期看護コース

ラダーレベル別人数



各レベルには「成果責任と行動目標」が詳細に決められ、上司との面接により評価を行いレベル決定がなされます。自己の臨床実践能力の強みと弱みが客観的に評価されます。

次のレベルにステップアップするために、看護部の充実した研修会や学会・研究会に主体的に参加し、支援を受けながら、自己の能力を伸ばすシステムです。現在、レベルⅣの看護師は102名(管理者を除くスタッフの14.6%)と年々増えており、質の高い看護サービスの提供に貢献しております。

●生涯学習認定システム

生涯学習の観点から、看護師になってからの学習や研修会参加、社会活動、お稽古事等をすべて単位認定しています。大学病院の特徴である、多様な患者や治療に対応できる一定レベルの知識・技術を習得し、ジェネラリストとして成長できます。

看護師生涯学習履修表		
履修科目分類	研修会名	取得単位数
専門知識・技術	「看護診断を取り入れた看護過程」	2
	「米国におけるCNSの現状」 「コックピットにおけるリスクマネジメント」	0.25 0.25
教育・指導	プリセプター研修会 全国セミナー・目標管理	1 1.5
看護管理	管理者研究会リーダーシップ	1
	管理者研究会目標管理	1
人間関係	「コミュニケーションスキルの向上」	2
研究活動	院内研究発表会(発表者)	3
	日本看護診断学会学術大会(参加)	1
一般教養	「女性のライフサイクル」	0.25
	お茶のお稽古(1年間)	3
看護倫理・看護観	医療と生命倫理	0.25
社会活動・看護協会活動	県看護協会・教育委員	5
2007年度 取得合計単位数:21.5単位		

●新人教育



兵庫医科大学病院では、臨床実践能力の向上を目指して、専門職として自発的、主体的な能力開発を促進するシステム「兵庫医科大学病院クリニカルラダー」を設けています。各レベルには、その成果責任を果たすための適切な教育プログラムが設けられています。

●専門看護師・認定看護師・助産師資格取得支援制度

専門看護師・認定看護師は、特定の専門あるいは看護分野で卓越した実践能力を有し、日本看護協会が認定したスペシャリストです。また、助産師免許取得には1年間の専門教育を受ける必要があります。当院では、双方ともに在籍したままで規定の進学や研修を受講し、資格取得後は臨床に復帰し活躍できる支援システムがあります。

平成18年6月から東京都清瀬市にある日本看護協会研修学校に約6ヶ月間通学し、平成19年10月に認定看護師として認定されました。在学中は生活費だけでなく、実習病院の移動費や参考文献などの購入で出費が多く、経済的負担が心配でしたが、当院では長期研修として扱われ給与が支給されましたので、学業に専念することができました。また、研修中も「看護主任」という役職は保障され、復職後も主任会のネットワークを生かして皮膚・排泄ケア認定看護師の活動を円滑にすることができました。

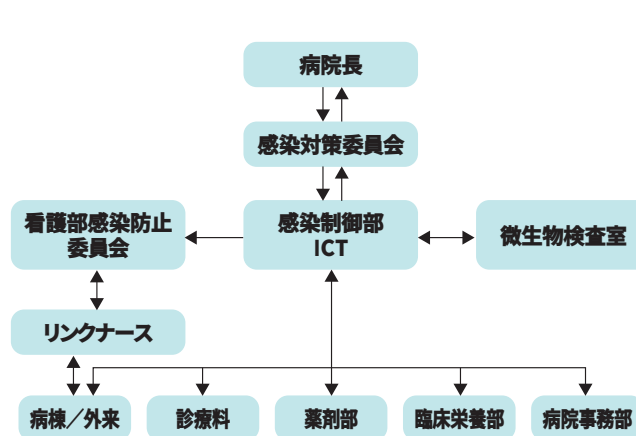
現在、勤務している9階西病棟では炎症性腸疾患に対するストーマ造設術を受ける患者さんが大変多く、認定看護師としての役割が果たせていると思います。また、病院全体の褥瘡・ストーマ・失禁でケアを必要とする患者さんに対して、各病棟スタッフや他分野の専門・認定看護師とケア介入について話し合い、より質の高いケアを提供していきたいと思っています。



皮膚・排泄ケア認定看護師
森 知佐子さん

＋ 医療安全への取り組み

●感染管理機構図



＋ 2008年4月より リエゾンナースを配置しています

質の高い看護を提供していくためには、看護師自身の精神的な安定も大切。しかし、忙しさや緊張感、人間関係の中で、不安や戸惑い、無力感にさいなまれることもあります。このような場合の看護師も含め、患者さん・ご家族・医療従事者のメンタルヘルス支援を行うのがリエゾンナース。兵庫医科大学病院でも4月からリエゾン精神専門看護師コース修了者1名を配置しています。

WE SET SWEET

—心地よい療養環境・ケアの提供をめざします—



兵庫医科大学病院看護部は、常に社会と医療の動向に目を向け、その要請に応じて良質の看護を提供するという理念のもと、“SWEET S(sincerity: 誠実な行動) W(warm:あたたかい対応) E(evidence:根拠のある実践) E(ethics: 倫理的感性) T(technique:確かな技術)”をモットーに看護職員一人一人が自己の役割と責任を果たすべく日夜業務に取り組んでいます。平成19年度には看護師配置基準7:1を取得し、より充実した看護をめざしています。

一段と高度化・複雑化する医療現場で、当院は大学病院という性質上、さまざまな疾患の患者さんが訪れ、それに対応して高度な最新医療の数々

兵庫医科大学病院では、常に安全で質の高い医療を提供するために、病院をあげて医療安全管理、感染対策に取り組んでいます。医療安全ではインシデント体制など組織として対策を検討したり、職種を超えて情報交換や活動評価などを行っています。感染対策では感染制御部が中心となり、予防活動や治療内容の検討など組織横断的に取り組んでいます。特に看護部門では各病棟のリンクナースが他職種も含めた感染予防活動に積極的に取り組んでいます。また、職員相談室を整備しカウンセラーを配置していますのでインシデントなどを経験した職員への支援体制も整っています。

救命救急センター 8-1病棟 リンクナース



感染対策委員会や看護部感染防止委員会と各病棟との橋渡しの存在として、患者さんに直接携わるスタッフに、感染防御に関する情報の提供や指導、病棟内の感染に関する問題点を見つけ出すなどの役割を担っています。活動の成果として、当院での感染防御に対する意識は一般のナースでも非常に高いと感じます。これからも、医療従事者と患者さん双方が安心して治療に専念できる環境づくりを目指していきたいですね。

精神科外来 リエゾン精神専門看護師コース修了 市川 久美子さん



リエゾンとは、「つなげる、橋渡しする」という意味。患者さんやご家族、医療従事者の心の問題にアプローチし、その間をつないでいくのが仕事です。また、専門的な治療が必要と判断した場合は精神科治療への橋渡しも行います。私自身、精神科外来の看護師を兼務していますし、仕事と家庭の両立を目指す一女性でもあります。看護師の皆さんには、同期や先輩に話しくいことも話せるような身近な存在に感じていただけると嬉しいですね。

副院長(療養環境担当) 看護部長 山田 繁代

が導入されています。看護師には高度な技術や豊富な知識の修得が求められ、就職当初は不安や緊張の連続の中での仕事だと思います。しかし、そういった職場環境が看護師の、そして一人の人間としての自己啓発に役立っていることはいうまでもありません。看護は、人と人とのかわりの中で自己を成長させる仕事です。患者さんや家族の方に信頼されるよう人間性の向上に努めるとともに、看護の原点を忘れることなく、あらゆるニーズに即応できるよう日々研鑽を続けなければなりません。また、“いい仕事は満ち足りたプライベートライフから”を考え、当院では快適生活を応援するために病院の近くに設備の整った宿舎を準備しています。一日の勤務を終えて職場を離れた後は、快適で充実した生活が送れるよう、プライバシーを大切に生活空間は皆の人気を集めています。大阪と神戸の間に位置する素晴らしい立地環境、仕事も遊びも全力投球で楽しんでください。

最近の主な出来事

4月 APRIL

1	兵庫医科大学	平成20年度入職式・オリエンテーション	平成記念会館において、西宮キャンパス（採用者約200名）入職式が執り行われ、続いてオリエンテーションが行われました。
	兵庫医科大学	平成20年度入職式	兵庫医科大学オクタホールにおいて、神戸キャンパス（採用者約40名）入職式が執り行われました。
	兵庫医科大学	平成20年度臨床研修医オリエンテーション（1日～4日）	臨床研修医48名、研修歯科医2名の計50名が参加しました。研修生は当院での臨床研修制度の全体説明や臨床研修医の心得、医の倫理、医療安全管理、病院感染制御、接遇、カルテの書き方、診療録の取り扱い方などの理解を深めるとともに、関係部門から業務説明を受け、研修がスタートしました。
2	兵庫医科大学	平成20年度大学院医学研究科入学式	→P14をご覧ください。
	兵庫医科大学病院	平成20年度看護師オリエンテーション（2日～5日）	120名が参加しました。看護部の紹介、当院における看護、安全管理、感染制御、接遇、看護診断、看護記録などの説明を受け理解を深めるとともに、医療機器の取扱い、コンピュータ操作、車椅子操作、体位変換・採血などの技術演習を受けました。
3	兵庫医科大学	兵庫医科大学第37回入学式	→P11-13をご覧ください。
4	兵庫医科大学	平成20年度兵庫医科大学入学式	→P25-27をご覧ください。
5	兵庫医科大学	白衣授与式	→P21をご覧ください。
7	兵庫医科大学	コロンビア大学留学について（4月7日～5月2日）	約3週間、6年生2名が米国コロンビア大学に留学し、病院実習を行いました。詳細は8月号で掲載します。
9	兵庫医科大学病院	市民健康講座	「治る脳腫瘍」をテーマに、脳神経外科 有田 憲生教授が第3会議室で講演を行いました。
16	兵庫医科大学	平成20年度春季放射線障害予防講習会	3-3講義室、3-1講義室において、約450名の医師、看護師、コメディカル等の方々が参加しました。プログラムは「放射線障害予防の実際：上畑准教授」「放射線の人体に与える影響：柏木臨床教授」「放射線障害予防規程：浜田学務部長」。この講習会は、兵庫医科大学規程によって義務づけられた教育及び訓練のうち、各使用施設に共通する事項について実施するものです。
17	兵庫医科大学	大学院学位授与式	→P19-20をご覧ください。
18	兵庫医科大学	新入生学外オリエンテーション（18日、19日）	→P11-13をご覧ください。
21	兵庫医科大学病院	10号館病棟薬局開設	10号館1階に病棟薬局を開設し、臨床薬剤業務の提供を開始しました。1号館の8階、10階及び13階に次いで当院4つ目となります。病棟薬局の業務は注射薬の無菌混合調製（注射薬ミキシング）、薬剤管理指導業務、医薬品情報の提供及び病棟配置薬品の管理などです。現在は、注射薬ミキシングから始めており、すぐに投与できる状態での薬剤交付を行っています。また、がん化学療法に対しては、抗がん剤の調製だけではなく、プロトコルチェックと薬歴管理を行い、がん化学療法の安全性の確保に努めています。主な設備として、クリーンベンチと安全キャビネットを設置し、調製薬剤の無菌性確保および調製者の安全確保に努めています。薬剤師が病棟の近くに常駐することによって、診療科や病棟のニーズに合わせた薬剤供給並びに入院患者への情報提供等を迅速に行えます。病棟スタッフと意見を出し合い、さらに1歩踏み込んだチーム医療を推進していきます。
22	兵庫医科大学病院	医療講演会	3-3講義室、3-1講義室において、東邦大学医療センター大森病院 心臓血管外科 小山 信彌教授が「診療報酬改定とDPC下の病院経営戦略」という演題で講演されました。医師、看護師、コメディカル、事務員等約500名が熱心に耳を傾けていました。
23	兵庫医科大学病院	市民健康講座	「最近の食道癌治療」をテーマに、外科 藤原 由規講師が第3会議室で講演を行いました。
28	兵庫医科大学病院	採血室受付業務支援システム導入	→P23をご覧ください。



兵庫医科大学平成20年度入職式



兵庫医科大学平成20年度入職式



臨床研修医オリエンテーション



看護師採用オリエンテーション



市民健康講座「治る脳腫瘍」



平成20年度春季放射線障害予防講習会



10号館病棟薬局開設



医療講演会



市民健康講座「最近の食道癌治療」



形成外科外来レーザー治療開始

10	兵庫医科大学	地域連携実践センター 公開講座	「在宅療養における栄養剤の使い方 その1」をテーマに、薬学部 医療薬学科 八野 芳巳教授が地域連携実践センターで講演を行いました。
	兵庫医科大学病院	第7回県民医療公開講座「健康診断一つみとろう、病気の芽」	兵庫県医師会館（神戸市中央区）において、第7回県民医療公開講座が開催されました。講演後のパネルディスカッションにおいては活発な意見交換が行われました。（共催：兵庫県医師会・兵庫医科大学病院・エーザイ株式会社・三光純薬株式会社）開会挨拶／兵庫県医師会 横林 親教常任理事 総合司会／兵庫医科大学 総合診療内科学 立花 久大教授 講演1 「がん検診のすすめ」／兵庫医科大学 内科学呼吸器・RCU科 福岡 和也准教授 講演2 「PET/CTによるがん診断」／兵庫医科大学 臨床核医学 柏木 徹臨床教授 講演3 「健康結果を生活習慣にどう活かすか」／尼崎市国保年金課健康支援推進担当 野口 緑課長補佐 講演4 「健康を守る臨床検査」／兵庫医科大学 臨床検査医学 小柴 賢洋教授
13	兵庫医科大学病院	看護の日記念行事「ふれあい看護体験」	10-5、10-6病棟において、「ふれあい看護体験」が開催されました。「看護の日（5月12日）」「看護週間」の記念事業の一環として全国的に開催されているもので、医療や看護について考えていくきっかけを作り、患者さんとのふれあいを通して、「看護」や「命」について理解と関心を深める機会を提供することを目的としています。今年は高校生1名と社会人1名が参加し、サポート役の看護師にアドバイスを受けながら、緊張した面持ちで清拭や移送など、患者さんのお世話をさせていただきました。時には患者さんに優しいお言葉をかけていただくなど、『患者さんとのふれあい』を体験しました。
14	兵庫医科大学病院	市民健康講座	「更年期とうまく付き合おう」をテーマに、産科婦人科 小森 慎二臨床教授が第3会議室で講演を行いました。
	兵庫医科大学	クリーンアップひょうごキャンペーンー県内一斉クリーンアップ大作戦ー	「クリーンアップひょうごキャンペーンー県内一斉クリーンアップ大作戦ー」に参加しました。G8環境大臣会合の開催会場となるポートアイランドで、周辺の企業や学校、行政等がポートアイランドキャンパス周辺及び、神戸新交通ポートライナー「市民病院前」駅周辺の清掃を行い、本学からは約80名の学生が参加しました。これは、「クリーンアップひょうごキャンペーン」の一環で、24日からG8環境大臣会合が神戸で開催されることから、例年より1ヶ月早く一斉クリーンアップ大作戦が県内全域で展開される中、メインイベント「開催10日前クリーンアップデー」として実施されたものです。
17	兵庫医科大学	後援会総会、教員・保護者懇談会	3-3講義室において、兵庫医科大学後援会総会が開催されました。引き続き開催された教員・保護者懇談会では、本学客員教授の塩澤 昌英氏による「医師国家試験の現状と本学の対応について」の講演があり、詳細な試験結果の分析、受験時の留意点等のお話に、保護者の方々はメモを取るなど熱心に聞き入っておられました。終了後、10号館リビエールにおいて教務委員、学生部委員を交えての保護者との懇親会が和やかに行われました。
	看護専門学校	ホームカミングディ（17日、24日）	新卒看護職員の早期離職防止の一環として、母校に帰り同級生らと語り合うことで仕事への思いを新たにしてもらうようと、本校卒業の新人看護職員を対象に開催しました。17日、24日の二日間で58名が参加し、軽食を取りながら団楽の時をもちました。先輩看護師や担当教員、学校長から体験談や激励の言葉もいただきました。参加者からは「頑張っている、と気持ちを新たにできました」との感想がありました。
20	兵庫医科大学病院	薬剤部早期体験実習（20日、27日）	→P23をご覧ください。
21	兵庫医科大学	平成20年度科学研究費補助金説明会	3-1講義室において、科学研究費補助金取扱に関する説明会が開催されました。主な変更事項や、分担金の配分、本学における間接経費の取扱、直接経費の使用内訳の変更、実績報告、科学研究費を使用するにあたってのポイント、府省共通研究開発管理システムについてなどの説明がありました。説明会の前に、競争的研究資金に係る会計検査院実地調査結果報告が行われました。
28	兵庫医科大学病院	市民健康講座	「慢性閉塞性肺疾患（COPD）の話」をテーマに、内科 呼吸器・RCU科 田村 邦宣助教が第3会議室で講演を行いました。
	兵庫医科大学病院	医療安全に関する医療講演会	3-3講義室、3-2講義室、3-1講義室において、日本医科大学 医療管理学 長谷川 敏彦教授が「もう一度考えよう医療の安全と質！…必要な発想の転換」という演題で講演されました。医師、看護師、コメディカル、事務員等約730名が熱心に耳を傾けていました。
31	兵庫医科大学病院	平成21年度兵庫医科大学病院臨床研修医募集説明会	第2会議室、第3会議室で約80名が参加し、説明会が実施されました。臨床研修医の募集説明会に続き、約20の診療科と50名の医師との個別相談会が開催されました。
	兵庫医科大学病院	第2回市民公開講座「炎症性腸疾患の治療をめぐる」	平成記念会館において、厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業市民公開講座が開催されました。約360名が参加しました。講演1 「炎症性腸疾患（IBD）の基礎知識」／内科学下部消化管科 中村 志郎准教授 講演2 「IBD診療の進歩と近未来像-治る時代へ-」／東京医科歯科大学 消化器病態学分野 渡辺 守教授（研究班班長） Q&A 「よりよい日常生活を目指して」



地域連携実践センター 公開講座



第7回県民医療公開講座「健康診断一つみとろう、病気の芽」



10-5病棟 ふれあい看護体験



10-6病棟 ふれあい看護体験



市民健康講座「更年期とうまく付き合おう」



クリーンアップ大作戦 ゴミ袋を片手に清掃



教員・保護者懇談会



ホームカミングディ



科学研究費補助金説明会



医療講演会



臨床研修医募集説明会



市民公開講座「炎症性腸疾患の治療をめぐる」

5月 MAY

1	兵庫医科大学病院	形成外科外来レーザー治療開始	形成外科において外来レーザー治療を開始しました。「色素性疾患治療用レーザー装置（Qスイッチアレックスレーザー）」と「血管病変治療用レーザー装置（ヴェビーム）」を導入し、青アザ（太田母斑）、外傷後のアザ（外傷性刺青）などの治療を開始しました。これらの装置で、ターゲットとする異常メラニンや毛細血管を的確に破壊し、アザを取り除くことができるようになりました。（治療効果には個人差があります。また、赤アザ（血管腫）、シミの治療は現在行っておりません。）
---	----------	----------------	---



理事長メッセージ

平成20年度の予算と事業計画

理事長 | 新家 莊平

先ず、平成20年度予算案をお示しします。これは先の3月24日に開催された評議員会の議を経て、同日の理事会で承認されたものです。

消費収支予算

(単位:百万円)

収 入 の 部				支 出 の 部				
科 目	平成20年度 予算額	平成19年度 予算額	増減	科 目	平成20年度 予算額	平成19年度 予算額	増減	帰属収入 比率
学 生 納 付 金	5,408	4,639	769	人 件 費	17,669	16,653	1,016	43.3%
手 数 料	195	212	△ 17	教 育 研 究 経 費	3,784	3,620	164	9.3%
寄 付 金	1,966	1,480	486	医 療 経 費	16,552	17,832	△ 1,280	40.5%
補 助 金	1,938	1,920	18	管 理 経 費	2,518	1,929	589	6.2%
資 産 運 用 収 入	141	188	△ 47	借 入 金 等 利 息	85	81	4	0.2%
事 業 収 入	794	747	47	資 産 処 分 差 額	100	82	18	0.2%
医 療 収 入	29,704	30,665	△ 961	徴 収 不 能 額	16	7	9	0.0%
雑 収 入	683	599	84	予 備 費	100	100	0	0.2%
帰 属 収 入 合 計	40,832	40,454	378					
基 本 金 組 入 額	△ 3,383	△ 3,577	194					
消費収入の部 合計	37,448	36,877	571	消費支出の部合計	40,826	40,306	520	
				当年度消費支出超過額	△ 3,378	△ 3,429	51	

※ 収支予算書の数字を百万円以下で切捨てて表示

資金収支予算

(単位:百万円)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成20年度 予算額	平成19年度 予算額	増減	科 目	平成20年度 予算額	平成19年度 予算額	増減
学 生 納 付 金 収 入	5,408	4,639	769	人 件 費 支 出	17,674	16,656	1,018
手 数 料 収 入	195	212	△ 17	教育研究経費支出	2,491	2,433	58
寄 付 金 収 入	1,966	1,480	486	医 療 経 費 支 出	14,679	15,825	△ 1,146
補 助 金 収 入	1,938	1,920	18	管 理 経 費 支 出	2,458	1,860	598
資 産 運 用 収 入	141	188	△ 47	借入金等利息支出	85	81	4
資 産 売 却 収 入	1,500	2,000	△ 500	借入金等返済支出	576	1,496	△ 920
事 業 収 入	794	747	47	施 設 関 係 支 出	1,676	995	681
医 療 収 入	29,704	30,665	△ 961	設 備 関 係 支 出	2,011	1,729	282
雑 収 入	683	599	84	資 産 運 用 支 出	1,500	1,500	0
借 入 金 収 入	0	0	0	そ の 他 の 支 出	4,148	5,432	△ 1,284
前 受 金 収 入	1,365	1,351	14	予 備 費	100	100	0
そ の 他 の 収 入	2,712	5,758	△ 3,046				
資金収入調整勘定	△ 3,576	△ 6,673	3,097	資金支出調整勘定	△ 5,013	△ 5,040	27
前年度繰越支払資金	8,659	4,589	4,070	次年度繰越支払資金	9,104	4,410	4,694
収 入 の 部 合 計	51,492	47,480	4,012	支 出 の 部 合 計	51,492	47,480	4,012

※ 収支予算書の数字を百万円以下で切捨てて表示

ご覧のように、帰属収支差額（帰属収入と消費支出の差）はほぼ同額で、非常に厳しい予算編成となっております。今後、西宮キャンパスにおける施設・設備の充実、リニューアル計画の具体化や開学2年目に入った兵庫医療大学への初期整備等のために多額の財源が必要であり、学校法人としては舵取りが難しい状況が続きます。

したがって、今年度の予算編成の方針は「積極的な増収策と徹底した経費削減により過去2年続いた財政状況の悪化を回避するだけでなく、積極的に財政健全化を図り、法人としての帰属収支の黒字化を必ず達成する」ことに集約されます。

周知のように、本学の収入の75%以上を占める医療収入は、最近の国の医療費抑制政策等により、その大幅な増加を見込むことが出来ません。また、経常費補助金の伸びも期待できませんので、今後の収支改善のためには人件費や薬品費・医療材料費等の医療経費の抑制に努めていかねばなりません。そのためには以下に述べる7つの基本方針を具体的に推進していくことが必須だと考えています。

基本方針

- (1) 将来を見据えた、健全で安定した財政を確立するため、可能な限りの増収策を講じる。
- (2) ゼロベースの視点で、全ての領域において徹底した経費の節減に努める。
- (3) これまで比較的に抵抗感の少なかった成長、拡大を前提とした考え方を改める。
- (4) 限られた財源を効率的に活用するため、事業実施時期、事業効果などを厳しく検証・検討する。

平成20年度 学校法人兵庫医科大学 常勤理事の業務担当

職 名	氏 名	担 当
理 事 長	新家 莊平	総 括
理 事	波田 壽一	兵庫医科大学長、教育・研究担当、広報担当
理 事	松田 暉	兵庫医療大学長、教育・研究担当
理 事	山村 武平	病院長、病院総括
理 事	岩 崎 忠昭	篠山病院長、ささやま老人保健施設長、篠山キャンパス担当
理 事	太城 力良	副院長、経営企画担当
理 事	谷澤 隆邦	副院長、地域医療担当
理 事	島 博基	副院長、物流担当、情報担当
理 事	佐藤 禮子	兵庫医療大学副学長、2大学間連携担当
理 事	飯田 俊一	内部監査担当、篠山病院問題担当
理 事	森田 泰夫	事務局担当、総務・財務担当

- (5) 新規事業の着手や既存事業における経費を増額する場合には、費用対効果を十分に検討し、他の関連する事業の廃止を行うなど、財源の確保および収支への影響を可能な限り見積もる。
- (6) 案件の大小にかかわらず（リース案件含む）、単年度収支のみならず次年度以降の負担も計画する。
- (7) 施設設備などの投資については、採算性、重要性、緊急性を十分に考慮する。

今年度の非常に厳しい予算編成に対して、各部門においては、事業の進捗に伴う収入・支出の予算管理を厳密に行い、それらの予算達成の見込みが厳しいときは急ぎ対策を打ち出し、事業の一部中止または延期などにより、弾力的に組織運営を行い、それぞれの部門単位での収支のバランスを責任持って確保していただきたいと思います。特に、兵庫医科大学病院の収支は、学校法人全体の収支に大きく影響することから、収入が目標値に満たないときは支出の抑制に最大限の努力をお願いします。

兵庫医療大学の収支も年々学納金収入が増加するとともに、学部在完成年度から補助金の交付も始まることもあり、2年後から好転しはじめ経営基盤の安定・強化に貢献しはじめます。病院収支の改善策も中期事業計画の一環として手の中にあります。近い将来に明るい光は見えています。

どうか、教職員の各人が、「日本を今一度、洗濯いたし申し候」という坂本竜馬に習って、「兵庫医科大学を今一度、洗濯いたし申し候」という気概を持ち、財政健全化という古くて新しい目標に向かって邁進していただきますようお願いします。

平成20年度の主な(新規)取り組み

兵庫医科大学 教育

- 1.教育機能の強化／教育効果向上のためのアクションプラン
 - 在宅ケア(訪問看護)実習を実施する
 - 少人数クラスのメリットを活かして、双方向の教育を実施する
- 2.解剖実習室の環境整備
 - 解剖実習に係る教職員の健康面の安全性を向上し、管理体制を強化する
- 3.関西学院大学との学生交流
 - 1年生全員を関西学院大学で教養基礎科目を学ばせる
 - 本学教員による関西学院大学での授業提供を行う
 - 本学での早期臨床体験実習などへの関西学院大学学生の受け入れを行う

兵庫医科大学 診療

兵庫医科大学病院

- 1.効率的な病床運営
 - 入院(一般)1日在院720人、1日退院60人、外来2,185人／日、平均在院日数14日
- 2.医療経費の削減
 - 主に、医薬品費、医療材料費を削減
- 3.IBD(炎症性腸疾患)センター(仮称)を設置する
 - 内科、外科共同で診療を行う体制を整備する
- 4.肝臓病センター(仮称)の設置
 - 肝疾患診療連携拠点病院として、兵庫県での肝炎の治療水準向上に寄与する
 - 内科、外科、放射線科の共同診療を行う体制を整備する
- 5.救急外来部(仮称)の設置
 - 救命救急センターとは別に救急外来部(仮称)を設置し、軽症・中等症患者の救急患者の受け入れ態勢を強化する

その他(兵庫医科大学・兵庫医科大学病院)

- 1.教員及び診療要員の人員管理の整備
- 2.看護師確保対策の強化
- 3.教育・研究・診療等充実のための基金の創設

兵庫医療大学

- 1.臨床薬学研修センターの設置と開設
 - 調剤実習等が行える研修センターを設置する
- 2.体育館建設及び各種設備の整備
- 3.キャリアデザインセンターの設置
 - 各学部のキャリアデザイン教育をサポートし、専門職業教育の支援拠点とする

- 4.リサーチマインドの醸成
 - 基礎医学教室へ学生を配属する
- 5.海外留学の充実
 - クロアチア・リエカ大学との交換留学やマイアミ大学への短期留学など
- 6.英語教育の充実
 - 3年生に「医学英語」5年生に「医療英会話」を導入する
- 7.モデル・コア・カリキュラムの遵守
 - 授業及び試験についての基準を策定する

- 6.院外処方の実施
 - 原則、全面院外処方へ切り替える

篠山病院

- 1.入院患者の安定確保
 - 一般病棟96人／日、療養病棟39.1人／日、外来380人／日
- 2.病歴管理体制の整備
 - 診療情報の整備・管理を推進し、医療の質を向上させる

ささやま老人保健施設

- 1.入所者及び通所、リハビリ利用者の安定確保
 - 長期入所者83人／日、短期入所者15人／日、通所リハビリ40人／日、予防通所リハビリ15人／日

- 4.財務総合システムの構築
- 5.物流センターの立ち上げ

- 4.学生生活の環境整備・支援活動の実施
 - 学生の満足度を高め、学習意欲の向上を図る
- 5.薬草園の設置と開園
 - 生薬の基原植物や医薬品の原料としての薬用植物などを植栽し、薬学教育・実習に役立てる
- 6.高大連携プログラムの構築

学長メッセージ

平成20年度 兵庫医科大学の教育・研究の目標と計画

学 長 | 波 田 壽 一

本 学の教育目標は「人間味に溢れ、患者のことを第一義的に考え、幅広い教養と高い倫理観を持ち、且つ基本的な医学知識、医療技能を修得した良医を育成すること」であります。この目標は年度ごとで変わるものではありませんが、目標を達成する為の手法は年度ごとに反省し、工夫されて教育の改善・改革が行われております。

平 成20年度に新たに開始することは、まず昨年7月に関西学院大学と「学術交流に関する包括協定」を結びましたが、それに則って本学の1年生全員を4月から7月の間、毎週木曜日に関西学院大学の上ヶ原キャンパスにおいて英語を除く人文・社会系科目を勉強してもらうことにしております。これにより本学学生が他学部の学生と交流し、人間としての幅を広げ、多様な価値観を身に付け、教養を高めてくれることを期待しています。

ま た、本年からの新しい取り組みとして、3年生を基礎医学教室(先端医学研究所を含む)に3週間、数人ずつを配属します。本学の基礎医学教室でどのような研究がなされているか、また研究とはどんなものかの一端を知ってresearch mindを育んでもらうと同時に、基礎医学教室の先生方とコミュニケーションを良くして本学への親近感を強めてもらうことを期待しています。それ以外に医師国家試験対策を考慮して5年生から学力補強策を実施しています。新卒学生の医師国家試験の合格率95%以上を目標にしていることは変わりありません。

研 究面では研究の目標は教員一人一人で考え方が違うと思いますが、大学としては研究力の一つの物差しであります科学研究費の取得を高めたいと考えています。平成20年度に採択された件数は103件(新規+継続)で19年度より6件増えており、更なる飛躍を目指したいと思います。

本 学では研究力を高める為に教員研究費助成、大学院学生研究助成などを行っておりますが、本年度も引き続き研究費助成を行い、研究力の底上げを行いたいと考えています。もう一つは大学全体で取り組む大型の研究プロジェクトを立ち上げて、文部科学省を始めとした公的助成金の獲得を目指したいと考えています。昨年度は「がんプロフェッショナル養成プラン」を近畿地区6大学で連携して申請し採択されましたが、本年度はグローバルCOEに応募しましたが残念ながら採択までに至りませんでした。来年度に再度検討して再応募する予定です。また本年度はこれ以外に「社会人学び直しニーズ対応教育推進プログラム」、「大学病院連繋型高度医療人養成推進事業」、「質の高い大学教育推進プログラム」などへの応募に向けて準備中です。



関西学院大学



関西学院大学授業風景

新入生、希望に満ちて

兵庫医科大学 第37回入学式

平成20年4月3日(木)午前10時より平成記念会館において兵庫医科大学第37回入学式が執り行われ、102名の新入生が入学しました。同日から翌週にかけて、新入生学内オリエンテーションを行い、7日(月)から授業を開始しました。



入学宣誓をする新入生代表の徳原悠介さん



新入生オリエンテーション ～心肺蘇生法実習～

学生生活や教務に関するオリエンテーションの一環として、平成記念会館アリーナにおいて、心肺蘇生法実習が行われました。シミュレータを使用している実習に加えて、全員に配られたCPR&AEDパーソナルトレーニングキットを使用して熱心に練習しました。



新入生学外 オリエンテーション

新入生の学外オリエンテーション合宿(4月18日～19日の1泊2日)が三洋電機塩屋研修センターで行われました。これから学生生活を送っていくうえで必要な内容が数多く盛り込まれ、先生や先輩方からのアドバイスに新入生は熱心に耳を傾けていました。



平成20年度
兵庫医科大学入学式 式辞



学長
波田 壽一

新入生諸君、ご入学おめでとう。桜の花も満開の今日の天気のように晴れ晴れとした気持ちで本日を迎えられたことと思います。心よりお祝いを申し上げます。ここに平成20年度第37回兵庫医科大学入学式を挙行出来ますことは大きな喜びであり関係各位に厚くお礼を申し上げます。諸君の永年の努力が実り、本学に入学されたことを本学を代表して歓迎の意を表したいと思います。また、保護者の皆様にも心からお喜びを申し上げます。

本学は昭和47年4月の開学以来「社会の福祉への奉仕」「人間への深い愛」「人間への幅の広い科学的理解」を建学の精神として、全人的医療を担える良医の育成を目指してまいりました。現在までに3,180名の卒業生を輩出し、日本のみならず海外からも高い評価を頂いております。また、昨年の4月に開学しました姉妹校の「兵庫医療大学」は薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の3学部からなり、医師以外の医療専門職者を育成して、本学が育成した医師と共にチーム医療を担うことで医療界に更なる貢献を目指すことを意図して創設されました。すでにクラブ活動を通しての交流が始まり、将来は両大学の学生がともに教育を受けることも予定されています。

さて、皆さんは医師という仕事をどのように考えておられるでしょうか。現在、日本の医療は大変な危機的状態が生じつつあります。過酷な労働条件の中、勤務医は経済的に報われない、医療事故の訴訟の対象にされるなどマスコミでも報道されています。医師という職業は決して楽な仕事ではありません。それでも皆さんが医師を目指されるのは、「人の命を預かる尊い仕事である」とか、「病める人のお役に立ちたいという崇高な思い」、あるいは「医学の発展に尽くしたい」などの気持ちがあるからだと推察いたします。また、セカンドオピニオンを求めて他医の意見を聞くことは日常的に見られます。医師としての知識、技能と態度が十分患者さんの期待に応えられるものでなければ、医師としての仕事を全うすることが出来ない事態も生じうることも予想されます。医師という仕事は大変責任の重い仕事であると認識していただき、勉学に励んでいただきたいと思います。また、皆さんを医師として育成するには、学生一人当たり6年間で1億円のお金がかかると言われています。

本学の授業料で皆さんの教育に係る経費の一部を負担していただいておりますが、残りの多くは主として、国民からの税金と本学で負担しているということを自覚していただきたいと思います。

さて、一般に医学はscienceとartから成るといわれますが、scienceにあたる部分が医学の知識に依存する部分で、artに相当する部分が教養であり、振る舞い方であり、知恵の働かせ方であり、コミュニケーション力であろうと思います。医科大学で医学を学ぶことは自明のことではありますが、それと同時に医師になるために最も要求されているのがコミュニケーション力です。「患者さんの話を聴く力」、「患者さんに分かりやすく説明する力」が求められているということです。本学では教養教育を更に充実させ、人間としての幅を広げることを目的として、昨年7月に関西学院大学(以下関学)と学術交流に関する包括協定を結びました。1年生全員が4月から7月にかけて週に一度、関学の上ヶ原キャンパスで英語を除く人文社会系科目(教養的基礎科目)を3科目程度関学生と一緒に講義と試験を受けます。また、関学の図書館を利用することも可能になります。諸君には、同じ世代の他学部の学生と互いに交流を深め、色々な経験をして、一人の人間として幅を広め、教養豊かな医師となるべく努力していただきたいと思います。福沢諭吉はその著書「学問のすすめ」の中で「医者、学者、政府の役人、---などは、身分重くして貴き者というべし。----(中略)---人は生まれながらにして貴賤貧富の差なし。ただ学問を勤めて物事をよく知る者は貴人となり富人となり、無学なる者は貧人となり下人となるなり。」と述べています。医者というのは学問に励んで社会貢献が出来るからこそ福沢は「貴き人」としたのだと思います。諸君もこの言葉に違わずよく勉強して、患者さんの為に、社会の為に貢献できる「貴き人」として尊敬されるようになっていただきたいと思います。医師は生涯自学自習を求められる職業です。日本の大学では知識を授けるという点が大学教育においては重要視されていますが、大学教育は元々広い教養と共に将来専門領域の勉強を続けていくための学習方法を学び、学習行動を習慣付けるための場であります。一日も早く自学自習の習慣を身に付けていただきたいと思います。また、是非良い友達を作っていただきたいと思います。これからの人生においては必ず、山があり、谷があります。そのようなときに必ずや皆さんの役に立ってくれるのは友達であります。これからの6年間で諸君にとって厳しくも明るく楽しい青春のひと時となることを願っております。最後にもう一度ご入学おめでとう。



平成20年度 大学院医学研究科入学式

4月3日(水)午前10時から9-2講義室において平成20年度大学院医学研究科入学式が挙行されました。入学者は44名(うち女性11名)で、うち34名が夜間履修学生です。今年度から開講された、がんプロフェッショナル養成プラン専攻授業科目(◎)への入学者が3名含まれています。



専攻	分野	授業科目名	人数	夜間履修者の有無	専攻	分野	授業科目名	人数	夜間履修者の有無	
医 科 学 専 攻	器官・代謝制御系	循環器病学	3	有	医 科 学 専 攻	高次神経制御系	リハビリテーション科学	3	有	
		上部消化管疾患学	2(1)	有			生体応答制御系	生体機能学	1	有
		内分泌代謝学	1	有				病院病理学	1(1)	無
		糖尿病学	2	有				小児科学	1(1)	有
		腎臓病学	1(1)	無				分子皮膚病態学	2(2)	有
		消化器外科学	1	有				胸部腫瘍学	1	有
		心臓血管外科学	3(1)	有				◎放射線腫瘍学	1	有
		呼吸器外科学	2	有				◎医学物理学	1	有
		産科学婦人科学	1	無				◎臨床腫瘍薬剤制御学	1(1)	有
	高次神経制御系	口腔科学	2	有		環境病態制御系		公衆衛生学	1	有
		神経生物学	1	無		分子病態制御系	内科学・リウマチ学	1(1)	無	
		神経内科学	1	有	皮膚病態制御学		3(2)	有		
		麻酔科学	1	有	疼痛情報制御系	分子神経科学・ペインリサーチ	1	無		
		耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学	3	有	分子再生医学系	神経再生医学	1	無		
	神経眼科学	1	無							
	合計44(11)名									

():女子内数

関西学院大学との連携講座がスタート

兵庫医科大学と関西学院大学の間で平成19年7月に締結した学術交流に関する包括協定に基づき、「学生及び教員の相互交流、授業科目の相互提供」の一環として、連携講座が開始されました。

兵庫医科大学では、第1学年次生に対し、これまでの教養系科目の一部(人文、社会系)を廃止し、関西学院大学の教養科目33科目のうち3科目を選択必修としました。4月10日～7月10日までの毎週木曜日、関西学院大学において同大学生と一緒に「倫理学概論」「心理学入門」などの授業を受けます。これにより、幅広い教養を身につけた医療人の育成を目指します。

また、兵庫医科大学教員が関西学院大学に行き、各教員の専門分野についてオムニバス形式で「医学入門」の授業を行います。また、「早期臨床体験実習」「在宅ケア(訪問看護)実習」など、関西学院大学学生が兵庫医科大学で同大学生と一緒に講義・実習を受ける夏季・冬季集中講座もあります。これにより医学の分野にも通じた複眼的視野を備えた人材育成を目指します。



徳原 悠介さん
「違ったキャンパスで勉強ができて、これから楽しみです。もともと文系の科目にも興味があり、こういった講座を受講できて嬉しいです。幅広く勉強していきたいです。」



4月10日:人間福祉学部「キリスト教と世界の福祉」授業風景



教授就任挨拶

外科学

ささこ

笹子

みつる

三津留 〈4月1日就任〉

本年4月より外科学講座教授となり、上部消化管外科の診療部長を拝命しました。今後は幅広く教育、研究にも力を入れていく所存です。外科医の高齢化、新規医局員の激減に伴い、現場の外科医は毎年5-10%減少し、15年後には多数の外国人医師を導入しないと外科診療が成り立たない現実には笑い話ではなくなってきました。外科治療無くしては治療できない病気がまだまだたくさん存在します。外科治療は科学的エビデンスに基づいて提供すべきですが、診療結果は経験や鍛錬に裏打ちされた技量とセンスに大きく影響さ

れます。患者さんにとっては、結果が総てであり、治療後のQOLは重要なポイントです。悪性腫瘍では技量の差が治癒率に大きく影響します。患者さんが求めているのは、外科研究者ではなく、患者さんの痛みが分かり、判断が的確で腕の立つ外科医です。私はエビデンスを求めて日本の外科の世界に臨床試験を導入しましたが、同時に強いQOLへのこだわりから外科のアートとしての側面も追求してきました。手術で患者さんが亡くならないようゼロへのこだわりも実践しています。一方、私が担当します食道癌、胃癌では有効な化学療法の実現で、進行癌では集学的治療が標準となりました。これらの環境の中で、外科医の役割をきっちりと果たせる医者を一人でも多く育てたいと思っています。また、皆様の大変な患者さんに最良の治療を提供できるよう、国立がんセンターでの20年間の経験と培った技量を生かして治療に当たっています。これからも「ここで治療してもらってよかった。」と必ず言っていられるように、医局員一同、修練と研鑽を積んでいく所存です。ご支援よろしく御願い致します。



臨床教授就任挨拶

麻酔科学

かみのう

上農

よしろう

喜朗 〈4月1日就任〉

平成20年4月1日より、兵庫医科大学麻酔科学講座の臨床教授を拝命いたしました上農喜朗です。

昭和55年に大阪大学医学部を卒業後、同大学麻酔科に入局し大阪大学付属病院・大手前病院で研修ののち、米国ユタ州ユタ大学にて麻酔作用機序の研究を行いました。帰国後、大阪府立成人病センター中央手術科に勤務し、平成8年2月より兵庫医科大学麻酔科学講座に赴任いたしました。

臨床分野では、吸入麻酔薬を用いた全身麻酔管理を専門

とし、特に薬物相互作用を利用した麻酔深度や痛みの管理を臨床研究のテーマとしています。基礎研究では麻酔作用機序の研究として、麻酔に関する神経ネットワークの数理モデルの提唱と、これを利用した薬物相互作用モデルの構築をテーマとしております。学生・卒後教育では麻酔シミュレータを中心とした臨床医療の模擬環境を利用した教育カリキュラムの企画に携わり、麻酔科医が専門とする気道確保及び気道確保困難症例の管理に関する技術的・非技術的能力の向上を目指したセミナーを企画・運営しています。

各地で麻酔科医不足が起っています。麻酔科医を志す若い医師を増やすことが私の使命の一つと考えております。そのためには、麻酔科医が安全な医療の遂行になくはならない存在であることを知ってもらい、危機的状況に対応できる医師の養成が必須と考えています。皆様のご指導・ご鞭撻を御願いいたします。



臨床教授就任挨拶

超音波センター

いいじま

飯島

ひろこ

尋子 〈4月1日就任〉

この度、超音波センター臨床教授、および内科学 肝・胆・膵科臨床教授(兼任)、超音波センター長(兼任)を拝命いたしました。

私は、兵庫医科大学を昭和58年に卒業後平成12年から東京医科大学、平成15年からカナダ・トロント大学にて肝胆膵内科、超音波医学(消化器、肝胆膵、基礎)で専門領域の診療に客員教授として従事してきました。

本学では、平成17年に超音波センターが立ち上がり年間21,000件以上の検査を施行しています。すべての科を横断した

センターは多くの施設から注目されています。今後は近隣の先生からの検査をダイレクトに受け入れ地域医療への参加を考えております。また、現在では全医師の20%以上が女性、本学でも40%が女子医学生です。今後女性医師数は急増し、なかでも女性医師再就業は社会的問題です。女性の立場からもこの支援事業にも取り組みたいと思っております。

兵庫医科大学には、日本肝臓学会肝臓専門医が13名おり、うち5名が指導医です。これを受け、肝胆膵内科は兵庫県で唯一の肝疾患診療連携拠点病院に指定されました。阪神地区は多くの肝炎罹患者がおられます。肝炎、肝硬変、肝臓診療にも教室をあげ先進的診療を提供することが急務と考えております。肝胆膵内科学教室には西口修平教授を中心に9名の専門スタッフがおります。全教員と協力し地域医療に貢献し最新医療を探索し学生にも医学のすばらしさを教育してゆきたいと思っております。今後にもかかわらず皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



図書館長就任挨拶

精神科

神経科学教授

もりた

守田

よしお

嘉男 〈4月1日就任〉

4月1日、本学図書館長を併任する辞令をいただきました。精神科神経科学講座の助手として奉職して以来30余年が過ぎ、この頃は一日一日を貴重に感じながら勤めておりますのでこのたび大切な仕事を与えていただき心から感謝いたします。

良き友と書物ほど人生の宝は無いと思います。電子メールがとびかう今日でも学問の府である大学で書物は最も大事な欠かせないものでありましょ。私事ですが、幼いころは山奥の田舎町で育ちました。しかし城下町であったためか立派な図書館をもって、あの静謐と本の匂いは忘れることができません。今でも学会の用事で東京へ出張すると本郷通りから湯島を通り、神田の古書街を歩くのを楽しみにしております。

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位:千円)

助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
(財)ひょうご科学技術協会	メカニカルストレス応答を軸とした肝再生・肝線維化の病態解析と再生への応用	飯室 勇二	2,000
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構	膜電位イメージング情報からの機能的神経回路網の再構築	越久 仁敬	273
(財)日中医学協会	中国における自動車排出ガスの健康影響:北京オリンピック開催時の大気汚染状況の変化との関連	島 正之	1,000



食道癌再発を規定する因子の同定

～集学的治療による予後向上を目指して

外科学 講師 藤原 由規
教授 笹子 三津留

癌 は隣接する細胞に侵入し正常な細胞を壊したり(浸潤)、離れた組織に飛んで癌細胞を増やし新たに腫瘍を作る(転移)など、さまざまな過程を経て再発します。食道癌は、喫煙・飲酒歴のある男性に多く、早期癌なら、内視鏡治療および抗癌剤や放射線などで治療しますが、多くは身体的侵襲の大きな外科的手術が必要で、手術で癌が完全に取りきれても、再発する患者を少なからず経験してしまうことが大きな課題になっています。しかし、化学放射線治療(CRT)後の癌再発を制御する仕組みはほとんど分かっておらず、早期再発を示し不幸な転帰をとる患者さまにはほとんど有効な対処法がありません。

私 達は、ヘッジホッグと呼ばれる情報伝達系の活性化に不可欠なたんぱく質「Gli-1」が、組織(特に上部消化管)の発生を促す正常幹細胞の働きを制御していることに着目し、CRT抵抗性と再発との関連性を検討致しました。ヘッジホッグ情報伝達系はもともとショウジョウバエの体表面に生えるハリネズミ(ヘッジホッグ)のような性状の体毛の発生に関わる情報伝達系として研究されており、近年ヒトの癌化にも関与していることが明らかになりつつあります。

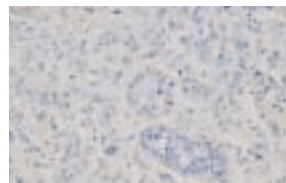
こ 数年、正常な組織を作り出す「親玉」細胞である正常幹細胞と同様に、癌化の過程においても「親玉」細胞(癌幹細胞)の存在することが白血病をはじめとして様々な癌で次々に報告されています。これによると、癌細胞は急速に増殖する一般的な「子分」タイプの癌細胞と、これらを作り出すごくわずかな「親玉」の癌幹細胞に大別されます。抗癌剤を投与したり放射線をあてると、普通の「子分」タイプの癌細胞は比較的容易に死滅しますが、癌幹細胞は治療抵抗性で生き残り、これが再発の原因と考えられるようになっているのです。現在、癌幹細胞のマーカーは5種類が同定されており、Gli-1もそのひとつです。

今 回の解析で、術前CRT施行食道癌69人を調べたところ、Gli-1が発現している人は約10%で、驚くことにそのほぼ全員が1年以内に再発して死亡していることを発見しました。一般の食道癌でのGli-1発現率はほぼ半分ですので、CRTによって絶対多数を占める「子分」タイプの癌細胞は駆逐され、“悪性度のより高い”治療抵抗性細胞が10%程度残ったと考えられます。すなわち、CRTを施行した後もGli-1が発現している癌は、治療抵抗性で非常に早期に再発し死亡に到るということが明らかになったのです。

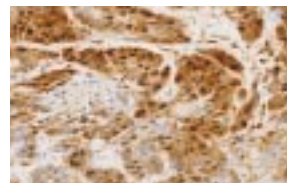


藤原 由規講師

笹子 三津留教授



Gli-1が発現していない細胞



Gli-1が発現している細胞

具 体的に本研究の成果を受け、Gli-1の発現解析を臨床にルーチンに取り入れることによって、再発ハイリスク群患者のスクリーニングが容易になり、個人に応じた治療オプションの選択が可能になります。また将来的には、癌幹細胞を死滅させる薬は再発を防ぐ根本的な治療法につながる大きな可能性を持っています。実際に米国では、ヘッジホッグ情報伝達系の活性化を止める新しい抗癌剤(分子標的薬剤)が開発され、皮膚基底細胞癌に対して臨床試験が始まったばかりです。Gli-1発現患者に絞り込んだ形で臨床試験を行えば予後向上が見込め、多くの食道癌再発ハイリスク患者の朗報となることでしょう。しかしながら、本研究で食道がんにおける幹細胞の発生メカニズムのすべてが解明されたものではなく、幹細胞のマーカーのひとつであるGli-1の核内発現が進行食道がん術後の再発予後因子となることが発見されたのみで、今後更なる研究が必要と考えます。

本 研究は、私と遺伝学・吉川麗月学内講師、分子病理学・辻村亨教授、陶立華先生との共同研究で、科学研究費補助金19590544「癌分化誘導療法におけるhedgehog情報伝達系の解明—消化器癌を中心に(代表・吉川麗月)」により行われました。また、遺伝学、玉置知子教授、中野芳朗先生には、今回の研究に際し多大なるご指導をいただきました。本研究は、本年4月米国癌学会(AACR)で発表し、5月13日付の英医学誌「ブリティッシュ・ジャーナル・オブ・キャンサー」に電子掲載されました。

笹 子三津留教授をお迎えして、外科学上部消化管部門はますます癌の集学的治療に力を尽くし安全で質の高い医療を行い地域社会へ貢献すべく努力しております。今回発見した知見をもとに、食道癌克服を目指して、“悪性度のより高い”治療抵抗性細胞を標的にした効率的な治療戦略を推進し予後向上を目指していきたいと考えております。

第102回医師国家試験について

教務部長 野口 光一

平 成20年2月16日～18日に実施されました第102回医師国家試験の合格発表が、3月28日に行われました。全国での受験者数、合格者数、合格率と本学出身者のデータを下記に示します。

第102回医師国家試験の結果

	受 験 者 数	合 格 者 数	合 格 率
総合計(前回比)	8,535(−38)	7,733(+198)	90.6(+2.7)
うち新卒	7,519(−197)	7,101(−19)	94.4(+2.1)
兵庫医科大学	105(−9)	88(−5)	83.8(+2.2)
うち新卒	85(−9)	74(−10)	87.1(−2.3)

()数字は前年度比

新 卒者の合格率は87%であり、昨年度と比較すると残念な結果となっております。中期計画に掲げた数値目標は新卒の合格率は95%であり、さらなる努力が必要と思われます。卒業認定保留者の合格率は2年連続67%であり、やはり卒業総合試験の時点で成績不良の場合、直前の対策のみでは限界があることをこのデータは示しております。

卒 業総合試験の成績と医師国家試験の成績の高い相関性より、卒業判定においては、卒業総合試験の成績を重視しております。全国の医学部／医科大学において6年次留年者を増やすことで(大学によっては5年など下の学年も)、医師国家試験の合格率を上げる傾向が見られ、国立大学医学部においてもごく通常のこととなっております。上表の今年度の医学部新卒者の総受験者数をご覧ください。197名の減少となっており、医師不足の時代と云われながら、新卒の受験者数が約200名減少しているわけです。本学の6年次留年者の数は私立医科大学の中でごく普通のレベルで、無理な数字操作はしておりません。今後ともその方向性は維持し、出来るだけ多くの学生がスムーズに医師になれるよう、対策を練っていききたいと思っております。

第 102回医師国家試験の合格基準は、必修問題が80%以上、一般問題は65%以上、臨床実地問題は66.5%以上、禁忌肢問題選択数は2問以下であり、昨年度同様ハイレベルの競争試験となっております。一般問題、臨床実地問題は相対基準が用いられており、医師国家試験の選抜試験化と言われる所以です。医

師になるための資格試験であるべき試験が入学試験と同じ競争試験となっている状況には疑問を感じますが、とにかく全国9,000名弱の受験生との競争に打ち勝つ必要があります。各大学の医師国家試験対策の充実、共用試験導入による受験対策の早期化、全国医学部受験生の学力の向上などの理由より、問題は年々難しくなっているにも関わらず、合格基準の上昇が明らかです。

こ うした状況を踏まえ、昨年度より本学のすべての試験の合格基準を、従来の60点から65点に引き上げました。たかが5点ですが、大きな影響を教員と学生に与えております。各科目の教員には、基本的な問題を高い確率で解答出来るよう指導していただくよう、今後ともFDなどを通じて徹底していきたいと考えております。また学生諸君には、試験は常に70～80%以上の獲得を目標に勉学するよう意識の切り替えをお願いしたいと思います。

6 年次カリキュラムは全国的にみても手厚いものとなっておりますが、今年度はさらに従来からの反省点を踏まえ、効率的な学習支援を行いたいと思います。医学教育センターを中心として低学年での成績不良者への効率的な学習支援、6年次での臓器別対策、補習講義、臓器別模擬試験、卒業総合試験の成績下位グループへの重点的指導等を行う予定です。同時に卒業判定は厳格に行う予定ですので、6年生の皆さんにはより一層の奮闘を期待します。

学位の授与



内科系 関口 昌弘

甲第495号 (H19.3.31)

Role of sphingosine 1-phosphate in the pathogenesis of Sjogren's syndrome
シェーグレン症候群の病態におけるスフィンゴシン1リン酸の役割



高次神経制御系 植野 秀男

甲第496号 (H20.3.13)

The Relationship between Serotonin 2A Receptor Gene Polymorphism and Alzheimer's Disease
セロトニン2A受容体遺伝子多型とアルツハイマー病との関連研究



内科系 宮田 明子

甲第497号 (H19.3.31)

Staphylococcal enterotoxin B enhances a flare-up reaction of murine contact hypersensitivity through up-regulation of interferon- γ
Staphylococcal enterotoxin Bはインターフェロン γ の産生増加を通してマウス接触過敏症の再燃反応を増強させる



器官・代謝制御系 中西 健太郎

甲第498号 (H20.3.27)

プロテインチップシステムによる羊水中のタンパク質発現プロファイルの解析
—正常妊娠と21トリソミー妊娠との比較—



外科系 小坂 久

甲第499号 (H19.3.31)

Interferon- γ is a therapeutic target molecule for prevention of postoperative adhesion formation
マウス腹腔内癒着モデルの確立と癒着形成に関わる要因の免疫学的解析及びHGFを用いた新規治療法の開発



外科系 細谷 友雅

甲第500号 (H19.3.31)

IL-18 prevents apoptosis via PI3K/Akt pathway in normal human keratinocytes
IL-18は正常ヒトケラチノサイトにおいてPI3K/Akt経路を介してアポトーシスを抑制する



病理系 稲津 早紀子

甲第501号 (H20.3.31)

Idebenone acts against growth of *Helicobacter pylori* by inhibiting its respiration
Helicobacter pylori に対するidebenoneの増殖阻害機作について



外科系 福井 智一

甲第502号 (H20.3.31)

Frequency-dependent ERK phosphorylation in spinal neurons by electric stimulation of the sciatic nerve and the role in electrophysiological activity
坐骨神経への電気刺激による脊髄ニューロンでのERKの周波数依存的なリン酸化及びその生理学的役割



病理系 大谷 成人

甲第503号 (H20.3.31)

Human herpesvirus 6 infection of CD4⁺T-cell subsets
CD4⁺T細胞サブセットへのヒトヘルペスウイルス6感染



外科系 濱田 哲宏

甲第504号 (H20.3.31)

Oncostatin M Gene Therapy Attenuates Liver Damage Induced by Dimethylnitrosamine in Rats
オンコスタチンM遺伝子治療は、ラットにおけるジメチルニトロサミン誘導性肝障害を抑制する



外科系 西尾 祥史

甲第505号 (H20.3.31)

Enhanced suppression of pulmonary metastasis of malignant melanoma cells by combined administration of α -galactosylceramide and interleukin-18
IL-18による α -ガラクトシルセラミドの癌の肺転移抑制の増強



内科系 立田 知大

甲第506号 (H20.3.31)

Lobeline Attenuates Methamphetamine-induced Stereotypy in Adolescent Mice
若齢マウスにおけるメタンフェタミン誘発常同行動に対するロベリンの抑制効果



外科系 瀬川 英美

甲第507号 (H20.3.31)

Expression of cyclooxygenase-2 and DNA topoisomerase II α in precancerous and cancerous lesions of the oral mucosa
口腔粘膜前癌病変および癌病変におけるシクロオキシゲナーゼ-2およびDNAトポイソメラーゼII α の発現



社会医学系 馬 露

甲第508号 (H20.3.31)

Airborne particulate matter and respiratory morbidity in asthmatic children
大気中粒子状物質が喘息児の呼吸器系に及ぼす影響



外科系 中井 紀博

甲第509号 (H20.3.31)

A mouse model of a human multiple GIST family with KIT-Asp820Tyr mutation generated by a knock-in strategy
KIT-Asp820Tyr変異を持つヒト家族性多発性GISTのノックインマウスモデルの作成と解析



内科系 櫻井 淳

甲第510号 (H20.3.31)

Activation of Extracellular Signal-Regulated Protein Kinase in Sensory Neurons After Noxious Gastric Distention and Its Involvement in Acute Visceral Pain in Rats
ラット胃の伸展刺激に伴う急性内臓痛と一次知覚ニューロンにおけるERKの活性化



外科系 原田 佳世子

甲第511号 (H20.3.31)

Vaginal infection with *Ureaplasma urealyticum* accounts for preterm delivery via induction of inflammatory responses
*Ureaplasma urealyticum*の女性性器潜在感染と早産との関連について



生理系 王 胜兰

甲第512号 (H20.3.31)

PLC and PKA mediate bradykinin sensitization of TRPA1: a molecular mechanism of inflammatory pain
PLC/PKAを介したブラジキニンによるTRPA1の感作機構:炎症性疼痛の新しい分子メカニズム



内科学(リウマチ・膠原病科) 橋本 尚明

乙第305号 (H20.3.27)

シェーグレン症候群における顎下腺超音波検査の有用性の検討

白衣授与式が行われました 95名が激励を受けました

平成20年4月5日(土)、第5学年次が臨床実習を開始するにあたり、3-3講義室において白衣授与式が行われました。95名がそれぞれの名前が刺繍された白衣を14名の先生方から羽織っていただき、固い握手を交わし激励を受け、「ヒポクラテスの誓い」を全員で唱和しました。この白衣授与式は米国で広く行われており、本学も米国Arnold P.Gold財団から2,500ドルの援助を受けて行いました。財団からは白衣の襟につけているピンとメッセージをいただきました。

本学においては、①プロフェッショナルリズム教育(診療チームの一員となる責任感と誇りを持ってもらう)②学生をStudent Dr.として扱うことにより愛校心を高め、学生と教員の信頼関係を深める③これまで育てていただいた保護者、教員に対して学生から感謝の念を表すことを目的として行いました。



白衣を羽織ってもらう様子



「ヒポクラテスの誓い」唱和



5号館前芝生で記念撮影

学生相談室の開室日が変わりました

本年度4月より、学生相談室の開室日が火、水、金曜日に変わり、相談員が2名体制になりました。学生の皆様が抱えておられる悩みや困りごとを一緒に考え、成長される姿を見守ることで、より充実した学生生活をすごすお手伝いができればと望んでおります。

日々の生活について、人間関係のトラブル、学業に対する不安、自分を見つめなおしたい、自分の性格が知りたい、ふとこれまでやってきたことに疑問を持った、身体が疲れているはずなのに眠れない、寝ても疲れが取れないなど、さまざまな問題について、お気軽に相談室へお越しください。相談員は臨床心理士の資格を持ち、教科や評価に関わらない立場にあります。ご相談の内容が外部に漏れることはありません。

学生相談室の他にも、学内には医学教育センターや学生保健室、教務学生課など、学生さんの相談窓口が複数あります。また、個別に学生の皆様を支えてこられた先生方や職員の方々がおられます。学生相談室では、学内の窓口や先生方にご指導・ご支援いただきながら、学生の皆様のサポートのあり方を探っていきたく思っております。

皆様方のご尽力の下、学生相談室が生まれて3年が経ちました。私ども相談員2名は、本年度4月に着任したばかりで、至らない点が多々あるかと思いますが、少しずつ、着実に学内に馴染めるよう努力致す所存ですので、宜しくお願い申し上げます。

学生相談員

ほその 久客
家次 やすこ
やすこ 家次



開室日

月	火	水	木	金
	家次	細野		細野 家次

***** 相談したいときは? *****

- ※ 開室時間内に電話で申し込みをするか、直接学生相談室に来てください。
- ※ 学生保健室や学年担任、教務学生課を通して申し込むこともできます。
- ※ 相談は一人でも、友達といっしょでも結構です。
- ※ 室内の見学や、自分を知るための心理テストもできます。
- ※ 1回の相談時間は決まっていますが、何回でも相談できます。

〈お問い合わせはこちらまで〉
TEL 0798-45-6434(直通)
時間 10:00~18:00
場所 9号館4階西

病院長メッセージ



平成20年度の病院経営目標と計画

病院長 | 山村 武平

平 成18年度に、かつてない診療報酬の3.16%という大幅なマイナス改定があり、また昨年19年度は病床の効率的運用と7:1看護体制確保のために、13階東西病棟を休棟せざるを得ず、年間の入院延べ患者数は前年度比91.8%(約2万5千人減)となりました。しかし、病院の収入合計は前年度比104.3%(11.8億円増)となり、平均在院日数短縮や手術件数増など、職員の血の滲むような努力の跡が伺われます。

一 方、支出面では人件費を含む支出の伸び、特に薬品費105.7%(4.6億円増)、医療材料費109.3%等による支出合計は前年度比104.2%(11.8億円増)となり、収支としては平成18年度とほぼ同額で2年連続の赤字を計上しました。そこで、本年度の病院経営目標としては、「何が何でも黒字!」を合言葉に職員一丸となって一層の増収と支出の思い切った削減を目指すこととしております。

増 収のための方策としては、7:1看護体制を維持しながら入院稼働率を現状の85%台から90%台に上げる事です。このためには一般病棟で最低でも1日入院720名、1日退院60名、精神病棟で1日(在院+退院)50名が必要です。かなり高いハードルですが、同日入退院や土・日の入院を促進できる環境づくり(業務体制の変革や時間外手当の支給検討等)を進め、このハードルを乗り越えたいものです。

病 院として可能な収入源としては、差額ベッド、つまり12階病棟(特別病室)の開棟が考えられます。

そのためには、7:1看護体制の維持も含め、看護師の確保が不可欠です。各医局当り1~2名確保して頂けると、30~50名の看護師増となり、大きな力となります。是非とも看護師確保にご協力くださるようよろしくお願い致します。

支 出削減の切り札としては、院外処方の実施に向け、ワーキンググループを中心に現在着々と準備を進めています。これにより、薬品費は大幅に削減されますが、収入減も大きく、収支全体に及ぼすメリットは灰色です。この点も含め、医薬品や医療材料等の物品の出入りに関して、本年10月開設予定の物流センター(現、同準備室)に期待するところです。

病 院の新規事業計画としては、5月に当院が兵庫県肝疾患診療連携拠点病院に認定されたことから肝臓病センター(仮称)を立ち上げ、肝炎から肝硬変、肝癌等の治療を内科 肝・胆・膵科、放射線科及び関連外科が組織横断的に診療できる体制とします。また、炎症性腸疾患についてもセンター化し、激増している本疾患の診療に消化器内科、関連外科がさらに連携を強化し、患者さんに、より良い医療を提供していきたいと思っています。

こ れらを実りあるものとするためには、安定した7:1看護体制の維持が必須ですので、くれぐれも前述の「看護師確保」をお忘れなく。そして繰り返しになりますが、本年度は「何が何でも黒字!」を達成しましょう!

禁煙外来を開設しました

内科外来34診 第1・3・5土曜日 完全予約制



呼吸器内科非常勤講師
岩野 健二

平成20年6月から診療開始

タバコは使用者の2名に1人を死に追いやる死の商品です。毎年日本で11万3000人がタバコによって命を落としています。呼吸器疾患はもちろん、ほとんどすべてのがん、脳卒中や心筋梗塞などの循環器疾患、糖尿病や骨粗しょう症など、ありとあらゆる病気の原因や悪化要因になり、被害は喫煙者本人だけでなく周囲の人にも及びます。

そんなに悪いものなのに、なぜ止められないのでしょうか？それはタバコの中のニコチンによる依存症という病気が絡

んでいます。どんなに意志の強い人でも睡眠薬を飲めば眠くなるのと同様、その人の意志の強さとは無関係に、ニコチンは「習慣になるとやめられなくなる性質」を持っている依存性薬物なのです。

「ニコチン依存症」には治療法があり、条件の合う人には保険も適用できます。これまでは、貼り薬やガムなど、癮になりにくい方法でニコチンを補充し、ニコチンの離脱症状を抑えるニコチン代替療法が主でした。ところが今年5月には、「飲む禁煙薬」が発売されました。弱いニコチン作用を持ち、喫煙時のニコチンによる快感を抑制すると同時に、禁煙時に離脱症状を抑える薬です。「我慢してがんばる禁煙」に失敗した人も、治療を受けることで、とても禁煙しやすくなります。その後の人生は本当にさわやかで、快適で、安心です。「タバコはやめられない」とあきらめてしまう前に、禁煙外来を受診なさって下さい。あなたにもきっとできますよ。

採血室での受付時間や 採血準備時間が短くなりました

4月28日から採血室に「採血室受付業務支援システム」を導入しました。このシステムにより、採血室受付業務や各種採血業務の効率化と安全性の向上が図れます。

採血室で受付を行う患者さんは年々増加しており、早朝から長い列を作るなど、ご迷惑をおかけしておりましたが、当システムを導入することにより受付時間や採血準備時間を短縮することが可能になるとともに、検査オーダーの出力誤りを防止することができ、患者サービスに大きく寄与します。

導入後は、診察券を持参していない、検査伝票を持参している、治験に伴う採血、ラベル発行済の患者さん以外は、基本的に全ての患者さんが自動受付機で受付していただくことになりました。

(医事課)



採血室前に採血・採尿受付機が2台設置されました。診察券を挿入すると整理券が出力され、検尿がある方には採尿カップも出てきます。



整理券の番号が待合室内のモニターに表示された方から、採血台にお越しいただき採血を行います。モニターにはおおよその待ち時間も表示されます。

早期体験実習の 受け入れを行いました

5月20日と27日、薬剤部において、武庫川女子大学と神戸薬科大学の薬学部学生に対し早期体験実習を実施しました。武庫川女子大学(20日)から10名、神戸薬科大学(27日)から9名が参加しました。

門林薬剤部長が兵庫医科大学病院の概要及び薬剤部について説明された後、薬剤部内(調剤室、製剤試験室、薬品情報管理室、薬品管理室、6号館精神科分室、がんセンター調剤室、病棟薬局など)を見学し、最後に質疑応答を行いました。

入学したばかりの時期であり、また病院薬剤部に入ることも初めてで緊張の連続であったようですが、少しでも病院における薬剤師の仕事を理解し、今後の勉強の糧にさせていただけたと思います。実習後の学生からは、病院の規模の大きさや、薬剤師の業務の多様性に関して、驚きの感想がありました。

(薬剤部)



学長メッセージ



2年目を迎えた兵庫医療大学

学 長 | 松田 暉

昨 年4月に開学し、早1年が過ぎ、目指す大学像を明確にして本格的な大学作りのステージになってきたと思っています。

教 育についての今年の目標を考えますと、本学の持つ特徴あるカリキュラムの推進であります。薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の3学部横断的講義と実習、次いで兵庫医科大学と連携したチーム医療教育の推進であります。入門講義である医療科学概論の充実のチュートリアル教育を導入します。講義シリーズの後に4回にわたって小グループで与えられたケースへの討論と最後の発表より成ります。特徴あるカリキュラムの重要な部分になってくれると期待しています。

教 育上の大きな目標は、兵庫医科大学との緊密な連携であります。その中には1年次の3学部合同早期臨床体験実習があり、また2年次のチーム医療特論があります。看護学部、リハビリテーション学部ではそれぞれの臨床実習が兵庫医科大学病院や関連施設で始まります。今年はこれらを更に充実させていくとともに、全学年を通した連携教育の調整部門として、医学・医療教育研修センターの設置が計画されています。兵庫医科大学学生、兵庫医療大学学生、さらに医療専門職者の卒後教育、生涯教育の調整も行うものであり、4学部のボーダレスな教育の取り組みが進んでいくものと期待されます。

か る連携教育の柱はチーム医療であります。医療現場でのチーム医療の実践なくしてはその教育も地に足がつかません。兵庫医科大学と兵庫医療大学の連携の絆としてのチーム医療を真剣に考える時期に来ていると思います。本年度はチーム医療教育とは何かを真

剣に考え、特に兵庫医療大学としてはその教育をどう具体化するかが課題であります。

研 究面ではそれぞれの学部が教員も充実し、研究機器の導入も進み、実験やフィールドワークが始められる環境になってきました。それぞれの学部で特徴ある、ユニークな研究が進むものと大いに期待されるところです。また、先端医薬研究センターもオープンし、兵庫医科大学から参加された西崎教授と後藤教授の二つのプロジェクトが始まっています。これに刺激され、薬学部の研究も加速されるものと期待しております。

その他、社会貢献では地域連携実践センターが担当します公開講座の充実とともに別途シリーズで行う二つの地域連携プロジェクトが走りだします。

以 上、本年度の教育、研究、社会貢献についての目標や抱負を紹介させていただきました。皆様のご期待に添うよう今年も歩みを着実に進めていく所存であります。最後になりましたが、開学準備の時から兵庫医科大学とのパイプ役として、またご意見番としてご尽力いただいた垣下榮三共通教育センター長が3月末で退職されました。垣下先生にはまだまだご指導をいただきましたかったのですが、もう若い人に任せる時であるとお考えで勇退されました。先生のご尽力に改めて感謝申し上げます。

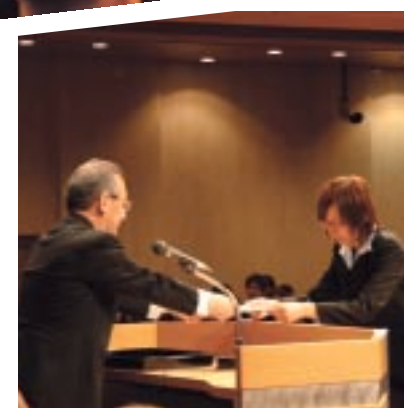
第2期生を迎えて

平成20年度兵庫医療大学 入学式

平成20年4月4日(金)午前10時よりポートピアホール(神戸・ポートアイランド)において平成20年度 兵庫医療大学入学式が執り行われ、薬学部193名、看護学部103名、リハビリテーション学部79名(理学療法学科39名、作業療法学科40名)の新入生が入学しました。第2期生となる新入生を迎え、同日から翌週にかけては、新入生オリエンテーションを行い、9日(水)から授業を開始しました。



入学宣誓をする新入生代表の左から薬学部 竹垣 利奈さん
看護学部 山岡 瑞苗さん リハビリテーション学部 宮佐 知さん



～期待を胸に、笑顔溢れる新入生～



新入生オリエンテーション

ポートピアホールでの入学式の後、キャンパスに移動し、全学オリエンテーション及び保護者説明会(学部別)を並行して行いました。また、引き続き翌5日から8日にかけて、学生生活及び教務に関するオリエンテーションを実施しました。

学生生活に関するオリエンテーションでは、奨学金や健康管理のほか、地元警察や消費生活センターの協力を得て、交通安全・防犯や、消費生活におけるトラブルなどについても注意を呼びかけるとともに、学生生活をサポートするアドバイザーシステムについての説明等も行いました。



オクタホールにて全学部合同オリエンテーション



保護者説明会(学部別)



学生生活に関するオリエンテーション



アドバイザーグループによる懇談会





平成20年度 兵庫医療大学入学式 式辞 「第二期生に期待する」

学長 松田 暉

六甲の山々と神戸の港に抱かれたポートアイランドで昨年四月、兵庫医療大学は開学しました。以来早一年が経ち、近隣の桜も満開の春たけなわの今日、ここに第二回の入学式を迎えることが出来たこと、大学として大変嬉しく思います。新入生の皆さん、兵庫医療大学への入学おめでとうございます。兵庫医療大学は兵庫医科大学の姉妹大学として、薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の三学部構成で昨年スタートを切りました。兵庫医療大学は今日から総勢800人を超える学生と教職員が揃い、大学として本格的な活動が始まろうとしています。新入生の諸君は1期生、そして教職員とともにこの大学を育てていくという気概で臨んでほしいと思います。21世紀医学医療懇談会が出した、期待される医療人の中に、医療人には、幅広い教養を持った感性豊かな人間性、深い洞察力、社会ルールについての理解、論理的思考力、コミュニケーション能力、自己問題提起能力や自己問題解決能力などを持つことが求められています。本学は、その期待に添うよう、兵庫医科大学の建学の精神にのっとり、幅広い知識と豊かな人間性を持ち、そして社会とともに医療を担う医療専門職者の育成を教育理念としています。

今、社会は医療の発展に大きな期待を持っています。安全で信頼できる医療、そして何より患者さんが中心の心のこもった全人的医療が望まれています。医療専門職が患者さんを中心に集まってそれぞれの専門分野での役割を果たしながら、連携して最善の治療を進めるという、チーム医療が改めて求められています。このような時代の要求に応えられるよう、三学部のみならず兵庫医科大学を交えたボーダレスな教育環境を用意することが私たちの使命と思っています。皆さんはいつか自分達と一緒に医療チームとして活躍することになる他学部の学生さんたちと垣根をなくして一緒に学べることをできることを大事にしてください。

私は長らく医療の第一線で働いてきました。専門は外科、その中心臓外科という生死にかかわる領域でありました。赤ちゃんの心臓の複雑な手術や心臓移植など、たくさんの経験をしましたが、どれ一つ一人でもやれたものはありません。一人の患者さんの診断から治療、術後フォローと本当に多くの人たちが集まってなんとか患者さんが元気になってくれるようみんなで力を出しあっています。チーム医療がなければ医療は成り立ちません。皆さんにはこれからまさ

に変わらんとしている医療現場でぜひ活躍してほしいのです。

さて、今日から皆さんは大学生であります。これまでの何事も教えてもらうという受身の立場から、自分から学ぶという大きな変化を受け入れていかなくてははいけません。自ら課題を見つけて、本を読んで自分で調べ、自分自身やグループで勉強しながら、知識を身につけ、また問題を解決していくという姿勢が必要となります。また、国家試験に合格することはもちろん大事でありそうしてもらえないといけません。が、国家試験勉強のためにこの大学に入ったのではないのです。幅広い知識と教養、人格形成が重要であるということも覚えておいてください。将来の医療人として必要な人との交流やコミュにケーションをうまくとる方法、そして国際性を身につけるため、専門以外の教育にも意欲を出し、幅広い教養を身につけていってください。この神戸の地は、十三年前の阪神淡路大震災で多くの犠牲者を出したところでもあります。皆さんは、折に触れて、震災でなくなられ、また傷ついた多くの人たちに思いをはせて、医療専門職者として進む上で、人の命の大切さ、医療の大切さ、そしてボランティア精神を大事にしていく欲しいと思います。

二期生として入学された諸君にもう一つ申し上げたいのは、これからの学生生活において良き友人をたくさん作っていくってください。「よき師とよき友は人生の宝」と言われています。そして、この大学に入った、この医療の専門分野への最初の門をくぐる事が出来た、というチャンスを最大限に生かせるよう、日々切磋琢磨してください。Take a Chance、チャンスを生かせ、という言葉を入生に贈ります。これまで大変お世話になった家族や友人、高等学校の先生などの熱い期待に報えるよう、素晴らしい環境のこの大学に入れたことを大事にし、悔いのない学生生活を送って下さい。諸君の頑張りに期待します。入学おめでとう。



教授就任挨拶

薬学部

きよみや けんいち
清宮 健一 <4月1日就任>

平成20年4月1日付けで薬学部衛生薬学領域の毒性学分野を担当させて頂くことになりました。

私は、昭和59年、北里大学大学院薬学研究科修士課程を修了後、明治製菓・薬品総合研究所で医薬品の安全性研究および抗癌剤などの副作用軽減法の開発に従事しました。平成2年からは、大阪府立大学大学院獣医学専攻で助手、講師、准教授として18年間、毒性学に関する教育・研究に従事しました。主な研究では、アンスラサイクリン系抗癌剤が蛋白分解酵

素複合体のプロテアソームと特異的に相互作用することを見出し、新たな細胞毒性発現機序や核内輸送機序を解明し、学位を頂きました。現在は、医薬品の薬効・毒性発現における新規生体内・細胞内標的分子を探索し、薬効を増大させ、副作用を減少させる方法の確立を目指しております。

この度、久し振りに再び薬学領域での教育・研究の機会を頂き、期待と不安を抱きつつ頑張る所存です。また、私の学生時代に比べて新しい科目や共用試験などの新しいシステムの導入によりカリキュラムが大幅に変更された6年制薬学教育の一角を担当する責務の大きさも痛感しております。新規カリキュラムに加え、本学の特徴とするボーダレスな教育環境のもと、さまざまな医療の場に対応できる教育を目指し、20年30年後の薬学を担う人材の育成・輩出に微力ではございますが、発揮できればと思っております。皆様のご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



教授就任挨拶

薬学部

いわさき つよし
岩崎 剛 <4月1日就任>

平成20年4月1日から兵庫医療大学薬学部薬物治療学を担当させていただくことになりました。昭和54年に信州大学を卒業後、兵庫医科大学第二内科に入局し、白血病などの血液疾患やリウマチ・膠原病の診療を行ってまいりました。また、骨髄移植の合併症である移植片対宿主病(GVHD)などの移植免疫反応、関節リウマチや全身性エリテマトーデスなど自己免疫疾患をテーマにした研究を行い、大学院生の学位論文の指導も行っていました。この間、大学・病院のすべての皆様にご

指導を頂き御礼申し上げます。

近年、医療は急速に進歩し、患者さんの医療に対する知識や要求も次第に強くなりつつあります。この様な医療の変化に対応するためには、医師、看護師、薬剤師、理学療法士などの各専門医療職が協力し、質の高い効率的な医療を行う必要があります。特に薬物治療は、生物学的製剤などの新薬の開発が目覚ましく、薬剤師がその専門性を生かしリードしていく必要があります。

私はこれまで20数年にわたり医療現場に携わり、医学生への教育をしてまいりましたが、これからは今までの経験を生かし、患者さんのことを理解し、医療に積極的に取り組める薬剤師を育成したいと願っています。そのためには、多くの皆様のご協力なしでは成し得ません。先輩諸氏の壁を越えたご指導・ご支援を切にお願い申し上げます。



教授就任挨拶

薬学部

こまむら かずお
駒村 和雄 <4月1日就任>

本年度より兵庫医療大学 薬学部 医療薬学科に着任いたしました駒村和雄でございます。担当科目は薬物治療学です。本年度から兵庫医科大学より着任された岩崎教授と共に協力して内科領域における病態生理と薬物治療の教育を担当させていただきます。

これまで国立循環器病センター・大阪大学循環器内科学教室(旧第一内科)・大阪警察病院にて循環器内科医として勤務してまいりました。前任地である国立循環器病センターでは

心臓血管内科と臓器移植部に所属し、もっぱら重症心不全の診断治療や心臓移植術前後の内科的管理を担当するとともに、研究所循環動態機能部室長としてトランスレーションを目指した新規心不全治療薬の開発や薬理安全性試験用の研究機器開発に携わってまいりました。前任地の病棟・外来においては、免疫抑制薬の患者毎の日々の調節について薬剤部のTDMに大変助けられ、いくつか分担させていただいた臨床治験ではCRCとしての薬剤師の先生方大変お世話になりました。

本学におきましては、薬学生の薬物治療学教育に邁進するとともに、今後益々重要性が増すCRCとしても、本学の卒業生が多方面で活躍できるようお手伝いさせていただければと存じます。薬学分野では新参者の弱輩でございますが、何卒宜しくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。



教授就任挨拶

薬学部

くがわ ふみひこ
九川 文彦 <4月1日就任>

新緑の美しい季節になって参りました。学校法人兵庫医科大学の御一門の方々には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私、この度本年4月1日付けで兵庫医療大学薬学部医療薬学領域薬物動態学分野に着任致しました、九川文彦と申します。よろしくお願い申し上げます。

有機合成化学から始まり薬事関連法規に至るまで、「薬学」と言うのは非常に幅広い学問であり、薬学生は多くの事柄を学ばなければなりません。その中において「薬物動態学」は比較

的新しい学問領域として、1970年代後半に日系アメリカ人のタケル・ヒグチらによって創設されました。今までの「化学物質としての医薬品」から、「医薬品を受け入れる側の生体（人体）」に学問的興味を大きくシフトさせたという点において、薬物動態学は学問としてのみならず、製薬や臨床においても非常に大きな意義を持つことになりました。「このお薬は、使用上の注意、用法用量を守ってお飲みください。」というテレビコマーシャルが流れていますが、この「用法・用量の注意」が薬物動態学の根幹であり、大学の薬学部教育においてのみ現れる、特有のしかも人の命に直結する非常に重要な学問領域であります。

このような分野の教育・研究を担当させて頂くことは、身に余る光栄でございますが、もとより非力な身上でございますので、関係各位のご指導・ご鞭撻を賜りながら、重責を果たしていく所存でございます。

どうかよろしくお願い申し上げます。

の育成に積極的に取り組みたいと思っております。心身ともに危機的状況にある患者・家族へ暖かい心のこもった手を差し伸べられる人間性豊かな人材育成は、丁寧に熟慮した教育活動を積み重ねていくことが重要と考えております。これまでの私の教育活動を今後いっそう充実したものになるよう努力をしていきたいと思っております。

研究では、以前より患者・家族の療養生活を支援するために情報技術を活用した学習システムを、医師、看護師、薬剤師、栄養士、情報などの専門家の方々とグループで開発を続けています。本学のボーダレスな環境や人的交流の面から、研究もよりいっそう進められる状況にあると心強く思っております。明るく活動的な学生たち、専門的な力を持つ教員、大学を支える事務職員などの方々とともに大学の発展に力強く携わっていききたいと思います。今後とも、ご指導ご鞭撻くださいますよう、よろしくお願いいたします。

に至るあらゆる年齢の保健相談と、特に社会資源の乏しい離島の精神障害者の社会復帰に向けた支援を行い、また精神保健福祉センター併設の生活訓練施設では自立を目指す精神障害者の日常生活訓練・相談業務に従事して参りました。その後、順天堂医療短期大学（平成16年改組、順天堂大学医療看護学部）で看護教育に携わるようになり看護実践の場から教職に移りました。

精神障害者の支援は医療機関に加えて地域の専門職、当事者・ご家族の協同が不可欠となっています。私が担当する科目は精神看護学概論・精神看護援助論・精神看護実習ですが、兵庫医療大学のボーダレスな教育・研究環境を十分に活かし、本学部を選んだ学生が誇りをもてるような質の高い教育を目指して努力して参ります。今後とも兵庫医科大学関連の先生方のご指導・ご鞭撻の程何卒お願い申し上げます。



教授就任挨拶

看護学部

あみじま
網島 ひづる <4月1日就任>

桜の花、青い海、そして麒麟の愛称で親しまれる神戸港の赤いガントリークレーンの列が青い空に映える日、兵庫医療大学看護学部に着任いたしました。

今後は、明るく開放的な教育環境のなかで、社会に貢献できる質の高い看護職者の育成に力を尽くしたいと考えております。特に、私は、健康レベルが急性期にある、また、周手術期にある患者・家族を対象にした看護学を専門としていることから、高度で複雑な先進医療に対応できる看護職者の基礎的能力



教授就任挨拶

看護学部

あらい のぶゆき
新井 信之 <4月1日就任>

平成20年4月1日付けで兵庫医療大学看護学部看護学科療養支援看護学（精神看護学）の教授として、順天堂大学医療看護学部より赴任して参りました。開学2年目の新しい大学に就任するという事で、その教育の歴史を築きあげていくことに大きな責任を感じています。

私は大学を卒業後、眼科診療所、公立総合病院の外科病棟、東京都立保健所等に勤務して参りました。その間、東京都島しょ保健所が管轄する離島の出張所では乳幼児から老年期



教授就任挨拶

看護学部

おおまち やよい
大町 弥生 <4月1日就任>

このたび平成20年4月1日付けで兵庫医療大学看護学部看護学科の教授として着任しました。専門分野は生活支援看護学領域の老年看護学です。老年看護学では衰退していく高齢者だけに焦点を合わすことなく、人の発達段階の中で成熟していく高齢者を生活の場からも捉えていきたいと考えています。ケアの価値とは生活の質を高めることに貢献することであり、対象となる人がその人らしく生きることを支えることにあります。患者と援助者の間には“ケアする者”と“ケアされる者”との



教授就任挨拶

リハビリテーション学部
理学療法学科

のざき そのこ
野崎 園子 <4月1日就任>

私は昭和55年に大阪大学を卒業ののち、天理よろづ相談所病院レジデント、大阪大学第二内科などを経て、国立病院機構刀根山病院 神経内科に15年、国立病院機構徳島病院の臨床研究部の責任者として3年半勤務しておりました。

国立病院機構時代は、ALS、パーキンソン病関連疾患、脊髄小脳変性症、重症筋無力症、多発性硬化症、末梢神経障害、筋ジストロフィーなど、政策医療の対象となる神経筋疾患の医療に関わってまいりました。最近、摂食・嚥下障害のリハビリテーション（JSDNNM

関係だけでなく、ともに歩もうとする人間同士の関係が基盤にあって成立するものです。

これまでの私の臨床経験は、周手術期、慢性期、終末期における成人看護と老年看護の分野です。この経験を生かして看護基礎教育において、患者さんの反応を意味解釈し、Evidenced based Nursingについて考えることなど、臨床看護の醍醐味を学生に伝えていきたいと思っています。また認知症の方とその家族への支援に関する研究も継続できるよう、地域の人と連携をとりながら進めていきます。

本学の教育目的であるチーム医療については、一人一人がその役割を果たすことで、そのチームがよりよくなると考えております。本学で私に与えられた役割を微力ながら果たすよう努めていきますので、どうぞ皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

事務局:<http://www.pmdrinsho.jp/JSDNNM/>）をはじめとする、神経筋疾患のリハビリテーションに重点をおいて医療と臨床研究を行なっております。チームの理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、栄養士、看護師、薬剤師、臨床検査技師、介護スタッフ、地域医療スタッフなど多くのメディカルスタッフの方々と一緒に、患者さんやご家族の笑顔をめざして医療をおこなってきました。チーム医療は、それぞれの専門性が十分発揮できた時に相乗作用を発揮し、最良の医療を提供できると思います。そのためには、メディカルスタッフが高い専門的知識、円滑な連携、高度な医療技術をもつことが必要です。兵庫医療大学の学生の皆さんがチーム医療の優れた担い手になれるよう、ともに学んでいきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。



教授就任挨拶

リハビリテーション学部
作業療法学科

やまざき
山崎 せつ子 <4月1日就任>

この4月に兵庫医療大学リハビリテーション学部作業療法学科に着任しました山崎せつ子です。

私は、国際基督教大学で言語学を学び、卒業後広告会社に勤めましたが、何か違和感を抱き、方向転換し、作業療法士（OT）になりました。

作業療法とは、ひとを作業的存在、つまり、「何か」をしつつ生きる存在、と捉える専門職です。「何か」即ち作業、とは、歯磨き、仕事や家事、友達との談話等、人が日々行うことを指します。そ

して、作業に何らかの不具合が生じた時、それらがうまくいくように、その方の心身機能の改善の指導、作業のやり方や環境の工夫等、様々な支援をするのがOTです。

作業は非常に個性的なものです。歯磨きにしても、どの歯から磨き始めどう進むか、1日のいつ、何分程度磨くか等、長年馴染んだ方法は人によって様々で、些細なことのようにも、馴染んだ方法でないと落ち着かないものです。作業療法はこんな個性を尊びつつ、その方らしい生活を共に築く仕事です。私はOTになり、この仕事に喜びを感じる自分を発見し、同時に、マスを対象とする広告会社に以前抱いた違和感も分かったような気がしました。

OTになり、脳卒中や発達障害の方を対象に臨床を行った後、広島大学、国際医療福祉大学、聖隷クリストファー大学で教育に携わりつつ、障害受容、乳幼児の遊びの継続性を研究してきました。

今後も、立派な、個性豊かな作業療法士の育成に努めたいと思っています。よろしくお願いいたします。



教授就任挨拶

リハビリテーション学部
作業療法学科

こかい まさひろ
湖海 正尋 <4月1日就任>

平成20年4月1日より兵庫医療大学リハビリテーション学部作業療法学科教授に就任致しました。3年前までの兵庫医科大学精神科神経科在職中、諸科の先生をはじめ皆様方より大いに薫陶を受け心から感謝しております。私は京都府立医科大学卒業後10年余、市中病院を中心に臨床や研究の後、兵庫医科大学で初めて大学医局に所属しました。今日の新臨床研修制度の先取りみたいですが、振り返るに大学医学部での研鑽が極めて重要なことを痛感しております。

もし若手医師の大学離れが続けば日本の医療水準低下は必定と懸念する次第です。

この度、医師以外の医療従事者を育成する立場となり、微力ながら多方面より医療を支える任につけたことを嬉しく思います。洋の東西、扁鵲やヒポクラテスの昔から医療は医師の独壇場でしたが、科学技術の発展や人権意識の高まりもあり、かつてなく細やかでトータルなケアが要求され、また実行可能な時代となりました。先進国ではもはやメインディッシュだけで料理が終わらないのは周知ということでしょう。我々医師は、もう少し時間や余裕があれば臨床でもっと微調整が出来るのにと隔靴搔痒の感を抱くことが少なくありません。より高度な教育を受け、かつ経験豊かなコメディカルが十分輩出されるとチーム医療も進展し想像以上に臨床の質が高まることも期待出来ます。それを加速するためにもどうか諸兄のご指導とご鞭撻を賜りたいと思います。

|学生相談室からのごあいさつ

学生相談員 おおわだ たけお
大和田 健夫
はらだ くにみ
原田 久仁美

兵庫医療大学学生相談室は、保健管理センターの中にあります。このセンターは2つの部門から成り立っています。一つは、学生のみなさんの健康管理を担当する保健室と、もう一つは、学生生活を送る上で出会う様々な問題について話し合うことができる学生相談室です。心や体のこと、勉強や人間関係のことなど学生生活全般について相談することができます。共に、勉強、実習、クラブ活動などで充実したキャンパスライフを過ごすことができるようにサポートする機関です。

学生相談室ではこころの専門の臨床心理士が、学生のみなさんの相談をお聴きしています。相談内容はどんな小さなことでもかまいません。また、保護者の方からのご相談も受け付けております。相談内容の秘密は守られますので、安心して利用していただけます。私たちは、まずは学生が「また来たいな」と思ってくれるような相談室にしたいと願っております。

開学2年目の新しい大学で、相談室も2年目を迎え、まだまだ立ち上げの段階ですが温かい相談室になるように努力をしています。と思っていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



開室日・時間

月曜日の午後 13:00～17:00
火曜日・木曜日 9:00～17:00

	月	火	水	木	金
午前		原田		原田	
午後	大和田	大和田 原田		原田	

《お問い合わせはこちらまで》

TEL 078-304-3019 (保健室直通)

078-304-3018 (相談室直通)

場所 セントラルオフィス2F

***** 相談したいときは? *****

- *相談の受け付けは、保健室で行っています。予約制ですので、保健室の受け付けが混雑している場合には学生相談室を直接訪ねてくださっても結構です。
- *相談は一人でも家族や友人と一緒にでも結構です。
- *自分の性格を知るために心理検査を受けることもできます。
- *保護者の方には、在籍学生に関わるご相談に応じています。

理事・評議員の異動



いまだ としあき
今中 利昭

理 事

再任 たしろ ちから
太城 力良 [平成20年6月1日付]
たにざわ たかくに
谷澤 隆邦 [平成20年6月1日付]
いまだ としかず
飯田 俊一 [平成20年6月1日付]

監 事

就任 いまだ としあき
今中 利昭 [平成20年6月1日付]
辞任 もり したか
森 芳茂 [平成20年5月31日付]

評議員

就任 もりた としお
守田 嘉男 [平成20年6月1日付]
みむら おさむ
三村 治 [平成20年6月1日付]
もり したか
毛利 好孝 [平成20年6月1日付]
再任 ごとう あきのぶ
後藤 章暢 [平成20年6月1日付]
辞任 こうじ
香山 浩二 [平成20年5月31日付]
いまい まさなお
今井 雅尚 [平成20年5月31日付]



もりた としお
守田 嘉男



みむら おさむ
三村 治



もり したか
毛利 好孝

昭和10年生まれ
昭和33年 3月 関西大学法学部卒業
昭和35年 3月 関西大学大学院法学研究科終了
平成19年 9月 関西大学法学博士
昭和37年 4月 弁護士登録(大阪弁護士会)
51年 4月 大阪市立大学非常勤講師(平成3年3月まで)
57年 4月 大阪弁護士会 副会長
63年 4月 大阪府弁護士会総合法律センター運営委員会 委員長
平成 2年 4月 大阪弁護士会弁護士研修委員会 委員長
4年 2月 第一紡績株式会社 更生管財人
4年 4月 大阪弁護士会司法委員会 委員長
5年 7月 大阪府建築工事紛争審査会 会長(平成7年6月まで)
7年 4月 近弁連・大阪弁護士会司法修習委員会 委員長
10年 5月 日本弁護士連合会司法制度調査会 委員長
12年 4月 芦屋市建築審査会 会長(現在に至る)
13年 6月 ニチン株式会社 社外監査役(平成15年3月まで)
14年 4月 甲南大学法科大学院教授(平成20年3月まで)
15年 4月 第一紡績株式会社 取締役(現在に至る)
15年 6月 株式会社池田銀行 社外監査役(現在に至る)

昭和16年生まれ
昭和42年 3月 鳥取大学医学部医学科卒業
43年 4月 京都大学精神医学講座 研究生
48年 4月 兵庫医科大学精神科神経科学助手
48年10月 兵庫医科大学精神科神経科学医局長
53年 2月 兵庫医科大学精神科神経科学講師
54年 9月 米国出張
(ノースウエスタン大学医学部神経科・臨床薬理センター)
56年 9月 兵庫医科大学精神科神経科学講師
平成元年 5月 兵庫医科大学精神科神経科学助教授
8年 4月 兵庫医科大学精神科神経科学教授
20年 4月 兵庫医科大学 図書館長併任

昭和25年生まれ
昭和50年 3月 大阪医科大学医学部医学科卒業
57年 3月 兵庫医科大学大学院終了
昭和50年 6月 兵庫医科大学病院研修医(眼科学)
52年 6月 兵庫医科大学眼科学医員
52年 7月 兵庫医科大学眼科学助手
58年 1月 兵庫医科大学眼科学講師
58年 7月 兵庫医科大学眼科学医局長(兼任)
平成元年11月 兵庫医科大学眼科学助教授
7年 9月 ドイツザールランド大学客員教授
10年11月 兵庫医科大学眼科学教授

昭和37年生まれ
昭和63年3月 岡山大学医学部医学科卒業
63年4月 厚生省入省
平成12年4月 神戸市入職
18年4月 兵庫県庁入庁
西播磨県民局県民生活部龍野健康福祉事務所長
20年4月 健康福祉部健康局医務課長

規程等の制定・改正
(規程等の全文は学内ネットに掲載)

制定・改正日:NO.1～14(平成20年4月1日)、NO.15(平成20年5月1日)

No	項 目	制 定 ・ 改 正 の 趣 旨
1	兵庫医科大学大学院学則	大学院担当追加及び特別聴講学生の受入れ対象を拡げるための改正
2	教務に関する規程	総合進級試験について第5学年次について再試験をしないこととしたための改正
3	兵庫医科大学 ポスト・ドクターに関する規程	「拠点形成型プログラム」の名称変更に伴い、対象研究プロジェクトの表記を変更するための改正
4	特別研究員取扱規程	特別研究員の研究手当の増額のため改正
5	兵庫医科大学大学院生 学術賞規程	大学院制度教育委員長を委員に追加、規程の改廃を理事会から常務会に変更
6	病院規程	外科を構成する5科を明記、医療安全管理室を医療安全管理部に改称し治験センターとともに中央診療施設に組み入れることによる改正
7	薬剤師レジデント取扱内規	薬剤師レジデントの取扱いについて定める
8	臨床研修医(歯科)管理規程	臨床研修医(医科)の管理規程改正に伴い、臨床研修歯科医においてもアルバイト禁止関係条文を整備し、就業条件を盛り込んだ全般的な改正を行う
9	物流センター構築検討 委員会規程	物流センター設置準備及びセンターの開設を円滑に推進するため委員会を設置し、必要な事項を定める
10	兵庫医療大学 動物実験規程	兵庫医療大学における動物実験に関し遵守すべき事項を定め、適正な動物実験の実施を図ることを目的として定める
11	兵庫医療大学 動物実験委員会規程	兵庫医療大学動物実験規程に基づき委員会の構成運営について定める
12	兵庫医療大学 動物実験センター規程	動物実験センターに関する必要な事項を定める
13	兵庫医療大学 動物実験センター運営委員会規程	兵庫医療大学動物実験センター規程に基づき運営委員会に関する必要な事項を定める
14	兵庫医療大学 研究支援者取扱規程	兵庫医療大学における研究活動の促進を図るため、研究支援者の採用等に関し必要な事項を定める
15	兵庫医科大学 協和会国際交流基金内規	クロアチア共和国リエカ大学との学術交流協定を締結したことに伴う教員・学生受け入れの財源確保のための改正

兵庫医療大学のための募金 状況報告

「兵庫医療大学」のための募金活動を平成18年5月に開始して以来、これまでに教職員をはじめ、後援会(保護者)、緑樹会(卒業生)、名誉教授、退職者等(612名)は言うに及ばず協力医療機関や関連病院等を始めとする幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、誠に有り難く、厚くお礼申し上げます。本学法人といたしましては、ご協力賜りました方々のご芳名を大学広報に掲載させていただき、感謝の意を表したいと存じ、下記のとおり報告させていただきます。

皆様からご寄付いただきました寄付金を兵庫医療大学の教育研究用施設整備等充実に利用させていただくとともにこれからも全力で大学の合理化推進等により、必要資金確保に向けて自主的努力を重ねてまいります。また、ぜひとも関係各方面からのさらなるご支援を仰ぎお力添えをいただきたく、引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

募金推進室
18. 5. 2～20. 4.30

区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
申 込	305件	603,154,000円	612件	155,490,000円	917件	758,644,000円
入 金	282件	493,424,000円	603件	154,985,000円	885件	648,409,000円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

20. 3. 1～20. 4.30

企業等法人 (18法人)

1,000,000円 株式会社 光洋様
1,000,000円 有限会社 ケイジェイシステム様
500,000円 株式会社 小西印刷所様
300,000円 株式会社 リイツメディカル様

(ご芳名のみ記載)

アルフレッサ 株式会社様
株式会社 クラヤ三星堂様
株式会社 キンキ酸器様
八洲薬品 株式会社様
コニカミノルタヘルスケア 株式会社大阪支店様
日本イーライリリー 株式会社様
兵田印刷工芸 株式会社様
株式会社 磯田印刷様
株式会社 三笑堂様
株式会社 イナハラ様
ケージー・プラスチック 株式会社様
ミヤリサン製薬 株式会社様
白井松器械 株式会社様
匿名 1社

関連病院等 (1法人)

(ご芳名のみ記載)
医療法人 五月会様

卒業生紹介

第1期生

細見 基信 さん

兵庫医科大学同窓会 緑樹会 会長



1.近況

平成8年に尼崎市に開設した内科・消化器科の診療所で、診療を行っています。患者さんを自分の家族と考えて診療し、引き続き地域医療に貢献していきたいと考えています。また、兵庫医科大学同窓会緑樹会の会長として、同窓会活動を通して、卒業生の帰属意識を高めていくと共に、平成19年4月より就任しました学校法人兵庫医科大学の理事として、卒業生の意見の代弁者でありたいと考え、兵庫医科大学の発展に少しでも寄与できればと、診療時間の合間をぬって東奔西走しています。

2.学生時代

昭和47年4月の開学時は上級生もおらず、まったく何も無いところから手探りの状態で学生生活が始まりました。当時は、現在の1号館も建設途中で教室も不足し、グラウンドもありませんでしたが、教職員も学生も兵庫医科大学の将来に向けて、脇目もふらず目標に向かって突っ走って来たことから、「一生懸命努力すれば、自ずと結果はついて来る。」ということを学びました。また、クラブ活動ではラグビー部に入部し練習に明け暮れていたのを懐かしく思い出します。何も無いところからのスタートでしたので全てのことが新鮮でした。医師国家試験の情報収集活動のために東京・大阪間を何度も往復しながら列車の中で卒業試験の準備をしたことや、医師国家試験の可否発表までのやきもきした日々を過ごしたことも、今では懐かしく思い出されます。

略歴

昭和53年 3月	兵庫医科大学卒業
昭和57年 3月	兵庫医科大学大学院医学研究科(内科学Ⅳ)修了
9月	ロンドン大学ガイズ病院消化器科留学
昭和60年 1月	育和会生和病院
昭和60年 4月	兵庫医科大学第4内科(消化器)医員
昭和61年 4月	兵庫医科大学助手
平成 6年 8月	春秋会西大阪病院消化器内科部長
平成 7年 5月	協和会協立温泉病院
平成 8年 4月	細見医院開設
平成17年 6月	本学同窓会緑樹会会長就任
8月	本学評議員就任
平成19年 4月	本学理事就任

3.卒業後に学んだこと

卒業後は内科学Ⅳ(消化器内科)に入局し、故下山 孝教授に師事、大学院卒業の後に留学したロンドン大学ガイズ病院の消化器内科では、「方法が間違っていなければ、予想していた結果が出なくても、がっかりするな。(予想した通りの結果であれば、新しい発見は無い)結果に自信を持って論文を書きなさい。」と教えられました。帰国後は消化器内科に復職し臨床と研究に従事し、「何があってもまず患者さんの事を第一に考える。」という精神を学びました。

4.兵庫医科大学に期待すること

患者さんを第一に考えて診療を行い、地域の先生方や患者さんから頼られる大学病院になっていただきたいと思います。大学職員には、患者さんの視点に立って、今何をすべきかを考えて立案・行動し、その結果に対して責任の所在を明確にし、分析した上で、大学が今後進むべき最善の目標に向かって、一步ずつ確実に前進して頂くように期待しています。また、一人でも多くの医師を世に送り出して、社会に貢献できるすばらしい大学になってもらいたいと思います。

5.在学生の皆さんへ

開学以来36年を迎え、卒業生が多方面で活躍しています。その兵庫医科大学の学生であることに誇りを持ち、6年間の在学中に心身を鍛え、医学の基礎、社会人としての基礎を学んで、人の痛みのわかる医師としての礎を築いてください。また、夜間でも大学院が開設されると共に、地域に根ざした地域医療から、最先端の高度先進医療の分野まで、全てを学び研究することが出来る施設とスタッフが整い、その門戸が開かれています。この恵まれた環境を最大限に活用し世界に向けて飛躍してくださるよう期待しています。



職場

R E P O R T

リポート



専門薬剤師として頑張っています!

がん専門薬剤師 藤澤 浩美 さん(左)
感染制御専門薬剤師 高橋 佳子 さん(右)

兵庫医科大学病院

薬剤部

積極的な院内活動

薬剤部は、外来、入院や注射薬の調剤を担当する「調剤部門」と医薬品を経済的・品質的に管理する「薬剤管理部門」、医薬品の情報収集や提供、服薬指導を行う「臨床薬剤部門」の3つの部門に分かれており、現在57人の薬剤師が働いています。

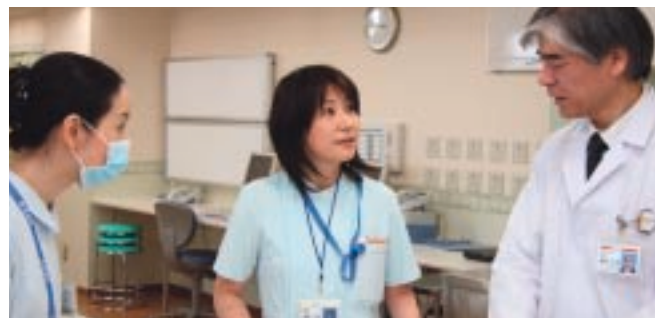
進歩の著しい医薬品を取り扱う中で、イントラネットを利用した薬剤情報提供や、病院感染制御チーム(ICT)への参加、薬剤業務改善のための検討や医薬品に関する調査・試験を行うグループ検討会の実施、新医薬品の勉強会など、院内活動も積極的に行っています。

また、日本病院薬剤師会認定の2名の専門薬剤師が、専門を活かした業務や指導などを行っています。

「ありがとう」が本当に嬉しい

——藤澤さん

外来化学療法室で専任の薬剤師として、抗がん剤が適正に使用されるために、レジメン登録・管理による処方監査や混合調製、医療従事者・患者さんへの情報提供を行っています。専任として特化した仕事をしていますが、薬剤師としてのジェネラリストの部分も忘れられません。医薬品は日々進歩しているので、情報収集と勉強が大事ですね。薬剤師を志す方には、専門分野については働きながらでも深められるので、広い分野でいろんなことを学んで



いて欲しいと思います。その中できつやりたいことも見つかるはずです。

チーム医療の中ではカンファレンスにも参加し、服薬指導で患者さんと接することも増えています。患者さんの状態を把握することで副作用などの可能性を早期に気づくこともできますし、患者さんが医師や看護師になかなか伝えにくいことを薬剤師に伝えていただけることも多く、気になることはすぐに医師・看護師にフィードバックするようにしています。患者さんや医師や看護師から「ありがとう」と言っていたらとても本当に嬉しいです。

専門薬剤師が活躍できる場を

——高橋さん

消毒薬の管理、TDM(治療薬物モニタリング)、院内製剤の調製やTPN(高カロリー輸液)の無菌調製、PETセンターでの放射性医薬品の品質管理検定などを行うほか、ICT(病院感染制御チーム)のメンバーとしても働いています。院内製剤やTPNの調製は感染源にもなってしまう可能性があるため、無菌操作などは非常に神経を使いますね。また、安全で間違いのない院内製剤を提供するため、医師からの依頼にも慎重に対応しています。

今後、妊婦・授乳婦専門や精神科専門薬剤師の認定制度が始まる予定で、兵庫医科大学病院でも専門薬剤師は増えていくと思います。ただ、専門を取るよりも、取った後のほうがたいへん。院内での理解をいただき、専門薬剤師が活躍できる場をつくっていくことも私たちの仕事だと思っています。



看護実践能力
育まれる人間愛
培われる将来性

温かい看護で患者さんに 選ばれる病院を目指したい

皮膚・排泄ケア認定看護師 | 森 知佐子さん 看護師長 | 波々伯部 公美(ほおかべ きみ)さん

兵庫医科大学病院

看護部 9階西病棟

患者さんの退院後の生活までサポート

9階西病棟は消化器外科病棟です。当科では、潰瘍性大腸炎の手術が国内初の1,000症例を達成するなど、一時的に人工肛門を造設する手術が多く行なわれています。人工肛門については、まずは患者さんに正しく理解して受け入れていただき、ストーマケアの手技を身に付けてもらわなければいけません。

26名いる看護師は、患者さんの退院後の生活を考え、短い入院日数の中でいかに自立していただくかに力を注いでいます。例えば、入院した時点で家族構成などを聞き取り、退院後の患者さんに何が必要なのか、誰がサポートできるのかを見極めるのも大切。また、スタッフでストーマケアのビデオを作製し、手術前の患者さんにお渡しして理解を深めてもらっています。一方で、早くからクリニカルパスの使用に積極的に取り組み、確実で効率的な治療体制を整えたうえで、その分退院後の生活を考えるなどサポートにあてる努力をしています。

ここでは、その中心的役割を担っているのが、皮膚・排泄ケア認定看護師。院内には2名の認定看護師がいますが、そのうちの1名が9階西病棟で患者さんの状況に応じた適切なケアの提供やスタッフへの指導を行っており、もはやなくてはならない存在です。



看護で選ばれる病院に

若い看護師には、よく「自分の親を入院させたいと思う病院を目指そうよ」と言っています。治療実績や療養環境もちろんですが、患者さんから見れば、最も身近な看護が病院の印象を大きく左右すると思います。患者さんやご家族の立場に立った温かい看護で患者さんに選ばれる病院を目指したいと考えています。

患者さんのそばではいつも笑顔

看護師たちが患者さんといっしょにいるときの笑顔を見ていると、患者さんのそばが好きで看護師が多いのだと思いますね。また、1人の力でなんとかしようというよりも、皆で患者さんをよくしていこうという雰囲気があるように思います。患者さんがストーマケアに自立できるようにするためには、チームの中での看護師の役割が重要。薬剤師や理学療法士・栄養士・ケースワーカーなどのスタッフがそれぞれの役割を果たすためのコーディネーター的な役割も担わなければなりません。ドクターもそれを理解してくれており、お互いに意見を求め合いながら進めています。

プライベートでも、先輩・後輩など関係なくスキューに行ったり、時には焼肉を食べに行ったりと楽しんでいます。しっかりと仕事するためには、しっかりと遊ぶことも大切ですね。



「手」は感情を表現しますが、 「手」は看護をも演出します。

基盤看護学(技術) | 竹田 千佐子 教授

兵庫医療大学

看護学部 基盤看護学

基盤看護学とは

基盤看護学は理論と技術から構築されており、私は「基礎看護方法論」「基礎看護技術I(生活援助)」「基礎看護技術II(治療援助)」「基礎看護技術III(看護過程)」「基礎看護学実習I・II・III」の技術に関する科目を担当しております。研究は、ラベンダーオイルを使用したリラックス効果を心理的・生理学的(脳波・脈波)な視点から検証するなど看護技術の評価に関するものが主な内容です。

看護技術は、同じ方法・同じ手順で展開しても、人それぞれに違いのある技術を提供することになります。なぜなら、看護を構成する要素には、“sciences・skill・character”の三要素があるからです。characterは英和辞書には、「人間性の際立った印・性格・特徴、人格など」と掲載されています。この人間性を表す道具には、「ことば」や「しぐさ」などがありますが、私たちの身体で最も感情を表しやすいのは「手」ではないでしょうか。「手」は看護技術を提供する“道具”にもなれば、“武器”にもなることがあります。私は、看護を志す学生一人一人が、“自分の手で安全が守れる・安全が表現できる看護技術”を身に付けてほしいと願っております。



ミドルファート精神病院 認知症コーディネーター ミヤマ・ゲーデさんと記念写真



基盤看護学(理論・技術)教員
後列左より 荻野待子・増田富美子・土居洋子・竹田千佐子・土田敏恵
前列左より 土屋智洋・岡みゆき・水野暢子・笠原知春

看護学部の1年生前期の講義(基礎看護方法論)では、最初にコミュニケーションの基礎“表現する”ことの難しさを知るために、兵庫医療大学のポスターを作成することから始まります。絵に表現するためには、まずこの大学のことを沢山知ることから始まり、最終的に、自分たちが表現したかったことが相手に伝わるのが試されます。そして、次の難関は、40分間の同一団体の体験学習です。基礎看護学実習室・成人看護学実習室のベッドで40分間、手先・足先以外は動かさない同一団体となり(患者役)、観察者(看護師役)に自分の状況や要求を伝えていきます。この際、患者役の学生は自分の言葉で明確に自分の状況を伝える豊富な語彙と技術が要求されますが、看護師役の学生にも深い観察力とインタビューの技術が要求されます。

この体験を踏まえ、学生は肉体的苦痛が精神に与える影響や、コミュニケーションに必要な道具、看護師としての役割などを追究し、看護学生としての第一歩を踏み出します。その後は、基礎看護技術I〜III・基礎看護学実習I〜IIIへと看護学の勉強を深めていきますが、臨地実習においては、大学の座学では学ぶことのできない貴重な体験を重ね、自分自身を振り返る大事な時を過ごすことになります。

私たちは、「主体性をもった学生」の育成を目指し、“納得できるまで看護技術を練習できる”自己学習サポート体制をとり、基礎看護学実習室の開放や講義時間外の学生指導を行っております(2008年4月1日〜16日までの基礎看護学実習室における自己学習者数は延べ730名を数えています)。

～学生とのデンマーク研修～

2008年3月15日〜24日まで、看護学部現2年生17名とともに「民主主義150年」の歴史を背景に“人間が中心にいる福祉”を実践してきたデンマークの現状を研修してきました。

研修先は、童話のハンス・クリスチャン・アンデルセン生誕の地で有名なオーデンセにある日欧文化交流学院で、高齢者センター・ミドルファート精神病院(認知症対策班)・オーデンセ大学病院・在宅重度身体障害者・幼稚園などを訪問し、デンマークにおける医療・福祉・教育の実態を学んで参りました。まさに“福祉が在宅かの二元論”をこえた高齢者福祉が展開され、その思想を支える国民ひとりひとりの意識は、幼児期からすでに芽生える環境に置かれていることを実感いたしました。



目指すは夏の大会での団体優勝!

兵庫医科大学 アーチェリー部 部長 4年生 布施 慎也 さん

現在23名で活動しており、毎週水曜日は兵庫医療大学の学生と合同で練習を行っています。平成記念会館横の射場で練習しています。大会はゴールデンウィークと夏休みに出場しています。仲が良く楽しい雰囲気ですが、先輩・後輩の関係なく技術を教えあうなど、皆が切磋琢磨して練習に励んでいます。また、射場に人がいないことがないくらいに、いつも誰かが自主練習をしています。練習中に怪我をしないように部員一同が心がけていますし、ミーティング等を通して情報共有なども徹底しています。

第21回全日本医科学生アーチェリー大会(夏)では男子ハーフ、女子ハーフともに優勝、第1回西日本医科学生アーチェリー大会(春)には団体優勝、男子個人、女子個人ともに優勝しました。夏の全日本医科学生アーチェリー大会に向けて、団体優勝の他、新人戦などでの好成績も目指してがんばります!



今年は6名も新入生が入部しました!

兵庫医科大学 合気道部 主将 4年生 尾下 武 さん

合気道部には現在22名所属し、平成記念会館の柔道場で練習しています。夏の西日本医科学生総合体育大会や流派の大会に向けて頑張っています。練習中は真剣で静かな雰囲気ですが、皆仲がよく、練習以外では楽しくおしゃべりしています。

何かを決める時は納得が行くまで話し合っています。全員が楽しく活動できるように心がけており、要望があれば解決できるよう努力しています。

今年は新入生が6名入部してくれて嬉しかったです。

西日本医科学生総合体育大会では2年連続で準優勝しています。今年こそは優勝を狙って、頑張りたいと思います!



大学祭が成功するよう頑張ります!!

兵庫医療大学 学生会 副総代 2年生 澤田 友宏 さん

学生会には現在17名おり、主に各部活・サークルの支援をしたり、学生の意見・要望をまとめて、大学と学生会で改善を図ったりしています。色々な仕事があるので、期限を設けて計画的に活動するようにし、またコミュニケーションを積極的に取っています。皆仲がよく、明るく楽しい雰囲気で、活動後に晩御飯を食べにいたりもします。

今年の新入生も沢山入ってくれて、更に活気が生まれました。今年は秋に兵庫医療大学の第一回目となる大学祭が開催される予定です。大成功に収まるよう、頑張りたいと思います。



自分の楽器がなくてもOK!

兵庫医療大学 Jazzバンド部 部長 2年生 石田 拓巳 さん

Jazzバンド部には現在26名が所属し、主に兵庫医療大学オクタホールで練習をしています。皆仲がよく、練習以外の時間にも行動を共にすることが多いです。設立されたばかりの部なので、設備や楽器などがまだ整っていませんが、自分の楽器を持っていない部員も練習に参加できるよう工夫しています。

この4月から沢山の新入生が練習を見学しに来てくれました。部員が10名増え、賑やかになりました。今後は他大学や一般のジャズバンドとも積極的に交流していきたいと考えています。



SMBC

三井住友銀行

●西宮支店

〒662-0918 西宮市六湛寺町14-12

TEL (0798) 33-5271

窓口 平日 9:00~15:00

ATM 平日・土曜 8:00~23:00、日曜 8:00~21:00

●兵庫医科大学出張所（ATMのみ）

ATM 平日 8:45~19:00、土曜 9:00~17:00

67億の健康。
67億の未来。

未来へ広がる、無限の可能性。
田辺三菱製薬、動き出す。



 田辺三菱製薬
www.mt-pharma.co.jp

健康と福祉に貢献する

医療機器・医用電子機器・衛生材料
アンギオ用力テール・内視鏡製品
整形外科用器械・病院設備全般

YAYOI 医療機器
Corporation
株式会社 やよい

□本社／姫路市古二階町3番地 平678-0836 電079(224)5151 傳079(224)2004

[illegible]

azbil

人を中心としたオートメーション

アズビル

检索

<http://jp.azbil.com>

山武グループ azbilは山武グループの
シンボルマークです。

azbilは山武グループの
シンボルマークです。

オープンキャンパスのお知らせ



おわびと訂正

広報第193号において誤り
がありましたので、おわびして
訂正いたします。
30ページ「兵庫医療大学の
ための募金 状況報告」寄
贈 [絵画] 上段

(誤)	津田	和一	作
(正)	津高	和一	作

7月・8月の行事予定

7月

6月30日～7月25日	兵庫医科大学	クロアチア リエカ大学交換留学(リエカ大学から3名、本学から5年生3名)
9日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「発音障害と歯科治療」 第3会議室／歯科口腔外科 本田 公亮講師
19日	兵庫医療大学	オープンキャンパス
23日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「白血病・リンパ腫に対する新しい治療」 第3会議室／血液内科 岡田 昌也講師
25日	兵庫医科大学	早期臨床体験実習(～30日)

8月

1日	兵庫医科大学	キャンパス見学会
2日	兵庫医科大学	医学教育ミニ・ワークショップ(～3日)
	兵庫医科大学	日本呼吸器学会近畿支部主催 第9回「肺の日」記念市民公開講座 平成記念会館／世話人:内科学 呼吸器・RCU科 中野 孝司教授
4日	兵庫医療大学	早期臨床体験実習(～8日)
6日	兵庫医科大学病院	市民健康講座「男性更年期障害の診断と治療」 第3会議室／泌尿器科 近藤 宣幸講師
9日・10日	兵庫医療大学	オープンキャンパス
23日・24日	兵庫医療大学	ポートアイランド4大学オープンキャンパス
28日	兵庫医科大学	マイアミ大学短期留学(6年生2名)(2週間)

学校法人兵庫医科大学 関連事業会社

(株)エイチ・アイ
各種業務受託、人材派遣、物品販売
Tel.0798-45-6656

(有)エイチ・アイ・サービス
損害保険、生命保険代理店
Tel.0798-45-6673

西宮市武庫川町1-1
兵庫医科大学10号館1F

<http://www.hi-hyogo.com/hi.html>

廣報

 広島医科大学  広島医療大学

2008年6月号 vol.194

発行日／平成20年6月25日

発行／学校法人兵庫医科大学
広報室 広報課
兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL：0798-45-6655
FAX：0798-48-6261
E-mail：kouhou@hyo-med.ac.jp
<http://www.hyo-med.ac.jp/>

印刷・製本／株式会社ゼネラルアサヒ

